

210201 東日本大震災 3.11 10 年目を迎えて（特別）



今年の3月11日で東日本大震災からちょうど10年になり、テレビや新聞などで多くの特集が組まれています。津波や原発事故で大きな災害が発生して、そこで被害に合った多くの人たち、そのご家族のことを考えると、なんと行って良いか言葉にもなりません。これからも地域の復興が早く進んで行くことを願うばかりです。

しかし、10年前の3月11日の前、大地震と大津波が起きる前にはいったい何があったのか？
これだけの災害が起きたのに、その前になにも前兆は無かったのか？
このことを語っている記事や番組は残念ながらほとんど見たことがありません。

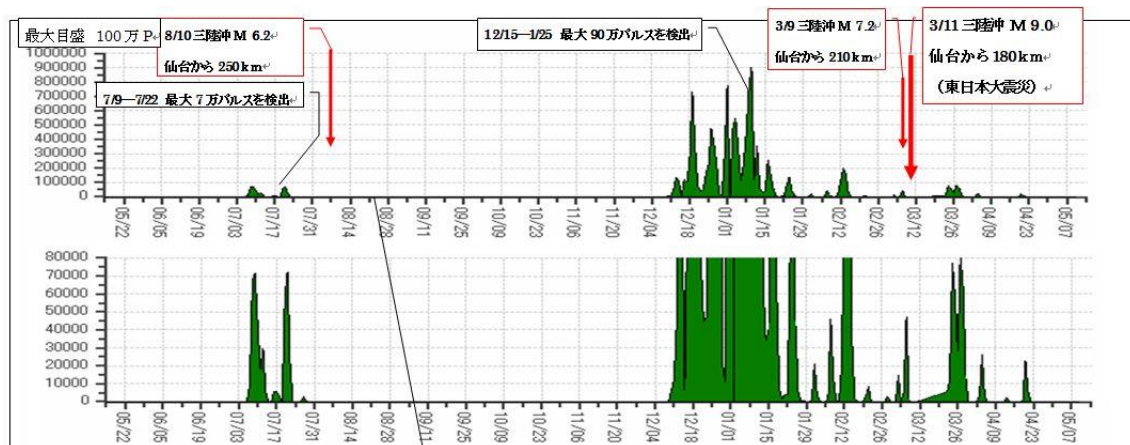
10年前の3月11日に発生した、東日本大震災のM9という日本の歴史上最大規模の大地震の発生は、ある意味巨大な物理現象で、それはある日突然に起きるのではなく、それなりの時間をかけて巨大なエネルギーが蓄積されてきて、その結果、ある時点で大地震として解放されると思われます。したがって大地震の発生の前、巨大なエネルギーが時間をかけて徐々に蓄積されていく間に、きっと何か、様々な前兆現象があったと思われます。そうした前兆現象を集めて解明したら大地震が予測できて多くの人が事前に対策をとることができ、もっと被害を小さくできたかもしれません。

この機会に、10年前の2011年3月11日の東日本大震災のM9が発生する前の

- 1、逆ラジオのデータと、当時、“くるかも”という名称の地震予知サイトを運営していた
- 2、我々の対応（メール送付）の経過を記します。

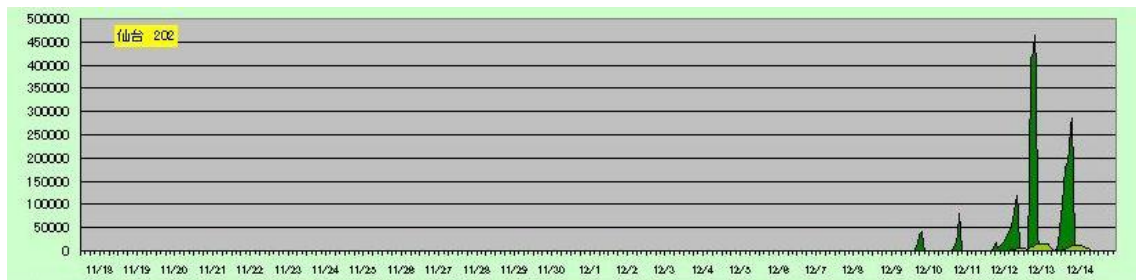
1、東日本大震災のM9が発生する前の 逆ラジオのデータ

360日間（日毎）データでは前年12月～1月にかけてMAX100万（日ごと）という大きな山をつくり、2月、3月と次第に減衰、収束してきていることがわかります。

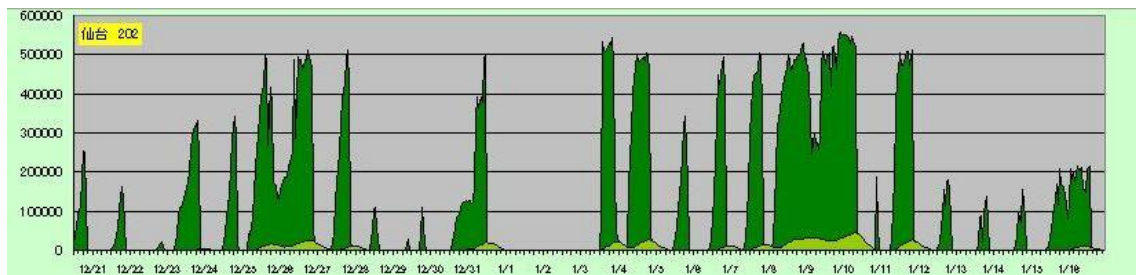


以下、2010年12月からの仙台観測点のデータの推移です。

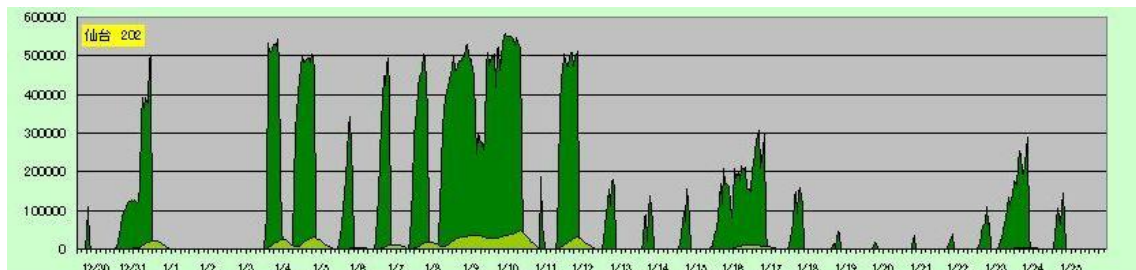
大震災の前年12月10日ごろから仙台に異常なノイズが出てきます。このノイズは12月13日には1度MAX40万（時間ごと）まで大きくなります。



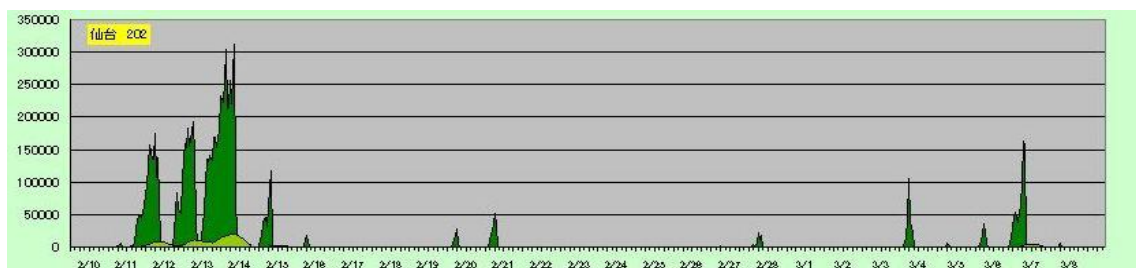
2010年12月20日頃を過ぎてからはデータは散発的ですがMAX60万（時間ごと）まで大きくなり異常なノイズが続きます。



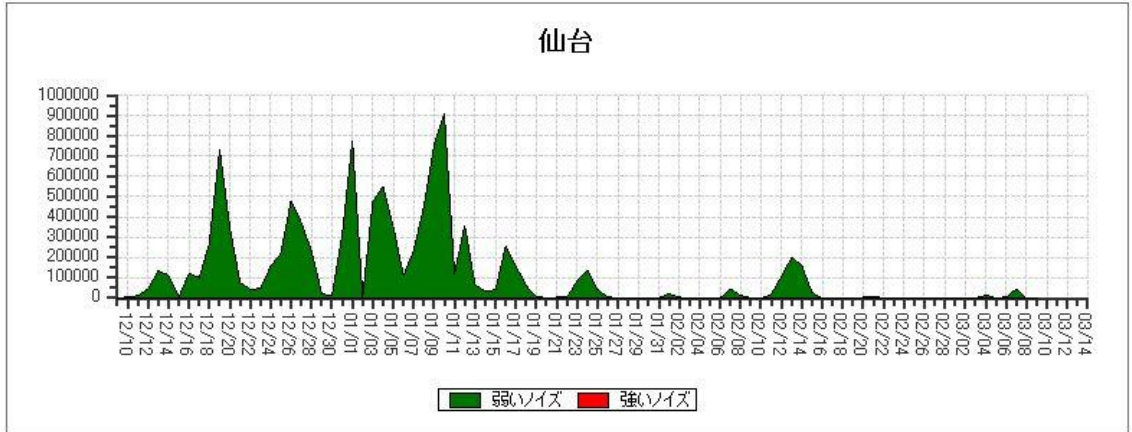
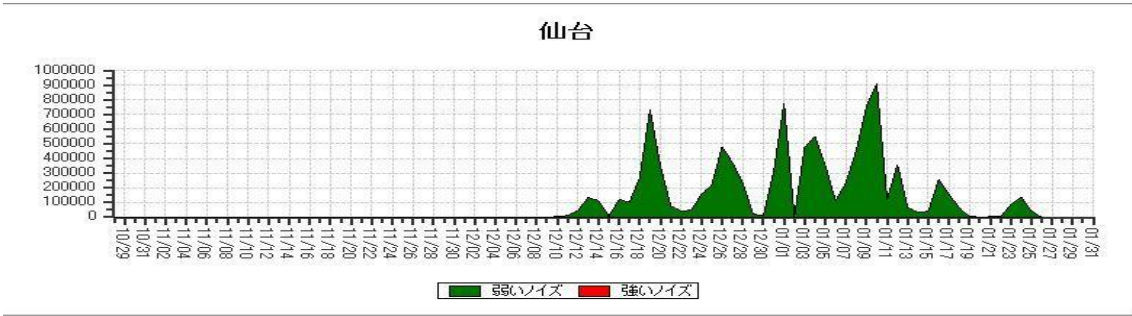
2011年の1月になると、それまでMAX60万あったノイズがやはり散発的ですがMAX30万位まで少し小さくなってきます。



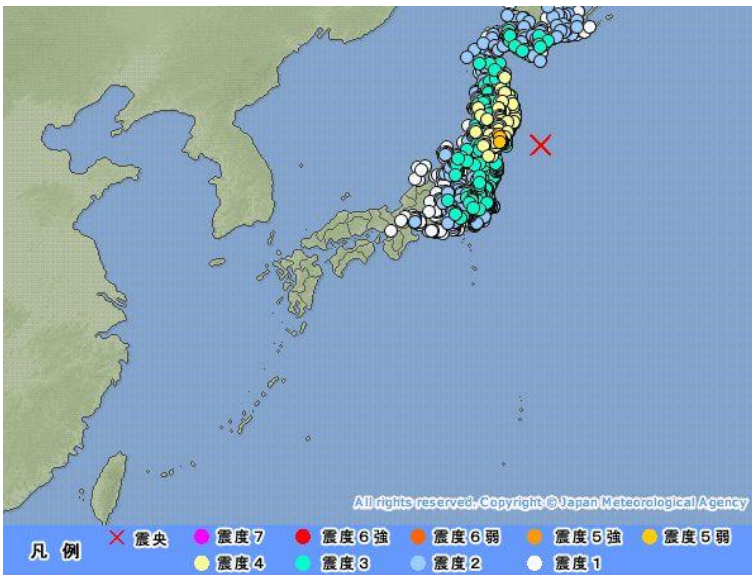
2011年2月後半からはノイズはさらに減衰し散発的になり、一見収束してきているように見えます。



しかし5万（時間あたり）程度のノイズは継続してきていました。

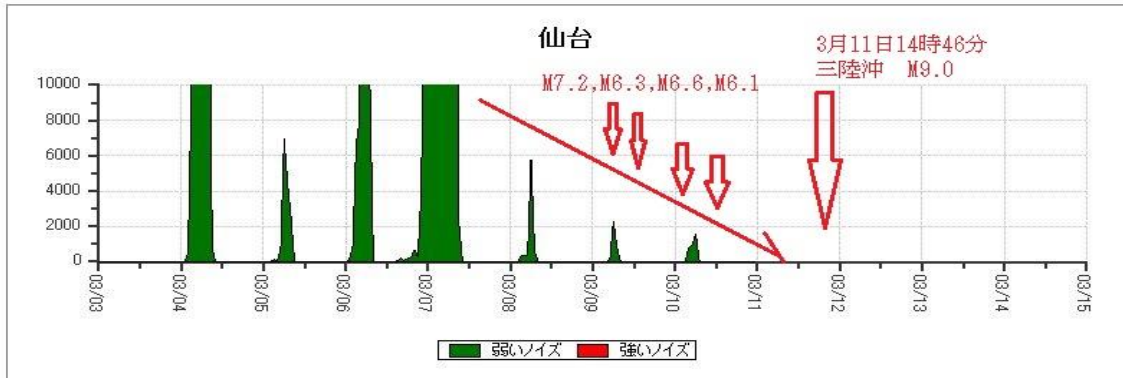


2日前の3月9日11時45分に三陸沖 M7.2が発生し、その後、同3月9日11時57分に M6.3、翌日3月10日AM6時24分にM6.6、3時45分にM6.1といういずれも M6クラス以上の大きな地震が発生しました。

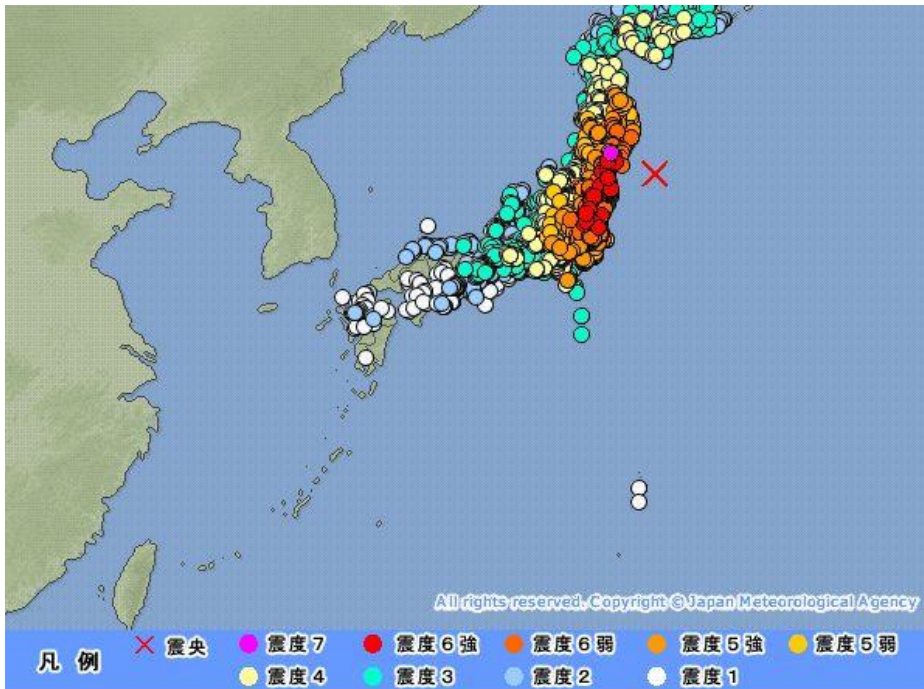


平成23年03月09日11時57分 気象庁発表
 09日11時45分頃地震がありました。
 震源地は三陸沖（北緯38.3度、東経143.3度、牡鹿半島の東160km付近）で震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は7.2と推定されます。

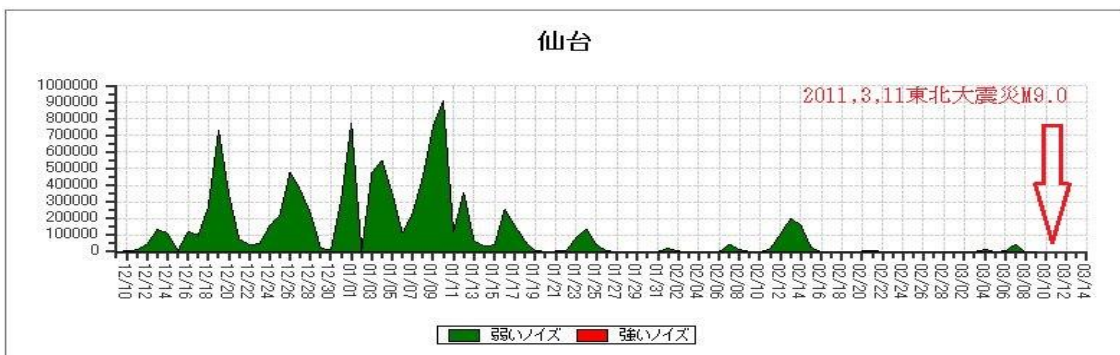
仙台7日間データ



月 11 日 14 時 46 分 三陸沖 M7.9 (のちに M9.0) が発生。



平成23年03月11日15時01分 気象庁発表
 11日14時46分頃地震がありました。
 震源地は三陸沖（北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）で震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は7.9と推定されます。



2、東日本大震災の M9 が発生する前、当時、“くるかも” という名称での会員へのメールの経過を記します。

M9 という巨大な地震の前兆データは約 3 か月前の、前年の 12 月から仙台市の南にある観測点が捉えていました。当時、地震予知サイト“くるかも”では 前年の 12 月から地震発生直前の 3 月まで 合計 13 回、“仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出ています”、“仙台沖など周辺地域は、地震発生の可能性がとても高い状況です。 どうぞご注意ください。”と言ったメールを当時の会員約 3000 名に配信しています。

<311 の前のくるかもメールの推移（抜粋）>
なお当時のメールの全文は [こちら](#)を参照ください。

No.10W-20101216 号（12月16日）
仙台観測点に、非常に大きい電磁波ノイズが出ています！！

No.10W-20101225 号（12月25日）
仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出ています！！

No.10W-20101229 号（12月29日）
仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが継続中です！

No.11W-20110108 号（1月8日）
仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが継続中です！

No.11W-20110113 号（1月13日）
仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが依然継続中です！

No.11W-20110121 号（1月21日）
仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが依然継続中ですが、1/13 から徐々にノイズ量が減り、収束間近です。

No.11W-20110127 号（1月27日）
仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、徐々にノイズ量が減り、収束間近です。 また、宮城小牛田にも活発な反応が見られます。
地震発生の可能性がとても高い状況です。どうぞご注意ください。
そして、山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い（強い）ノイズは、依然継続中です。

No.11W-20110202 号（2月2日）
仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、現在はほぼ収束です。約 2 ヶ月前から急に出始めた異常ノイズは、大きくきれいな山型となっています。また、宮城小牛田にも活発な反応が見られます。 仙台沖など周辺地域は、地震発生の可能性がと

でも高い状況です。どうぞご注意ください。

そして、山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い（強い）ノイズは依然継続しており、壁のように立っています。

No.11W-20110210 号（2月10日）

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、現在はほぼ収束です。約2ヶ月前から急に出始めた異常ノイズは、大きくきれいな山型となっています。

・・・そして、山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い（強い）ノイズは、完全に収束しました。・・・このような電磁波ノイズの出方は初めてなので予測が難しいですが、仙台の収束と合わせて、十分な注意が必要です。

No.11W-20110217 号（2月17日）

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、現在はほぼ収束です。約2ヶ月前から急に出始めた異常ノイズは、大きくきれいな山型となっています。

・・・山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い（強い）ノイズは、完全に収束しました。・・・このような電磁波ノイズの出方は初めてなので予測が難しいですが、仙台の収束と合わせて、十分な注意が必要です。

No.11W-20110223 号（2月23日）

要注意としていた仙台の異常データは、2/10に福島県沖M5.3（最大震度4）が発生しました。しかし、予測よりもやや小さいこと、感度方向が過去の傾向と比べてズレているため、今後、もう少し大きめの本震が発生する可能性があります。

・・・完全収束と見られた山形庄内の異常データが、再度リバウンドを見せています。このようなデータは過去に例が無いので不確実ですが、山形庄内周辺でM5クラスの地震が発生する可能性がありますので、どうぞご注意ください。

No.11W-20110302 号（3月2日）

仙台観測点に出現していた過去最高値の異常データは、福島や三陸沖の中規模地震を捉えていた可能性があります。現在も、福島・三陸沖などにM4～5クラスの地震が発生していますので、もうしばらく注意が必要です。

そして、同じく大きな壁立ちのような異常ノイズデータが出ていた山形庄内は、完全に収束。これは福島（震度4）の地震を捉えていたのか？現時点では不明確です。

No.11W-20110309 号（3月9日）

本日、午前11時45分頃、東北地方三陸沖にM7.2の地震が発生しました。

・・・さて、肝心の予測ですが、残念ながら直前のメールは配信できませんでした。しかし、お気付きの方もいらっしゃるかと思いますが、昨年12月から仙台に過去最大のノイズが出現。約1ヶ月の間、異常データが続きました。その後次第にノイズ量が減り、地震発生の可能性が高まったため、何度か警戒情報をメール配信しました。しかし発生

したのは、いずれもM4～5クラスの中規模でした。

同じく、山形庄内にも昨年10月頃から大きなノイズが出現し始めました。

そして1月18日頃から、突如赤く強いノイズが出現。約一週間続きました。

その後一気に収束。この時も警戒メールを配信しましたが、発生したのは小規模～中規模の地震でした。・・・このように、何度となく東北地方の大規模地震を注意してまいりましたが、今日というタイミングで発生するところまで予測ができませんでした。

~~~~~

### 3.11 東日本大震災の翌日（3月12日）の臨時メール

臨時くるかもメール（a u）配信内容（2011.03.12 配信）①

No.11Rau-20110312（3月12日）

東北地方太平洋沖地震について：

2011年3月11日14時46分頃、東北三陸沖を震源とするマグニチュード8.8（最大震度7）という非常に大きな地震が発生し、その後も東北・関東・甲信越で大きな余震が続いています。これにより、東北地方を中心にとっても広い範囲で甚大な被害が発生しております。震災被害に遭われた方々には、心からお見舞いを申し上げます。

・・・東北の「くるかも」観測点は5箇所。その内、「仙台」と「山形庄内」観測点に過去最高値の異常な電磁波ノイズが出現していました。昨年12月から仙台に過去最大の電磁波ノイズが出現。約1ヶ月半の間、異常データが続きました。その後、次第にノイズ量が減り、地震発生の可能性が高まったため、何度か警戒情報をメール配信していました。

同じく、山形庄内にも昨年10月頃から大きなノイズが出現し始めました。

そして1月18日頃から、突如強いノイズが出現！それが約一週間続きました。その後一気に収束し、この時も警戒メールを配信しました。

その後、ノイズは収束状態がしばらく続き、震度4の中規模地震がいくつか発生しましたが、「引き続き注意が必要」とお伝えしてまいりました。

そして3月9日に三陸沖M7.2（最大震度5弱）が発生。これが「本震」であると考えておりましたが、これは本震ではなく「前震」でした。

2011年3月11日14時46分頃、東北三陸沖を震源とするマグニチュード8.8（のちにM9.0に変更）（最大震度7）の巨大地震が発生。

「くるかも」は、過去に発生した地震と電磁波ノイズの出方を比較分析して予測情報を出していますが、過去に例のない、想像以上に大きな地震が発生しました。

~~~~~

余談 01 三陸海岸大津波 吉村昭著について



この本では明治三陸地震、1896（明治 29 年）M8.5 の大地震と 津波発生 Max 海拔 38.2m、昭和三陸地震、1933（昭和 8 年）M8.1（M8.4）津波 Max 海拔 28.7m について詳細な記録が書かれている。この本に載っている過去の三陸大地震と津波がもっと防災対策に反映されていれば 被害はずっと小さく済んだ可能性があります。

>>三陸の大地震と津波

1896（明治 29 年）	M8.5	津波	Max 海拔 38.2m	
1933（昭和 8 年）	M8.1（M8.4）	津波	Max 海拔 28.7m	37 年後
2011（平成 23 年）	M9.0	津波	Max 海拔 m	78 年後

明治三陸地震（めいじさんりくじしん）は、明治時代の日本の三陸沖で発生した地震である。1896 年（明治 29 年）6 月 15 日午後 7 時 32 分 30 秒、岩手県上閉伊郡釜石町（現・釜石市）の東方沖 200km（北緯 39.5 度、東経 144 度 [注 2]）を震源として起こった、マグニチュード 8.2- 8.5 という巨大地震であった。

地震に伴って、本州における当時の観測史上最高の遡上高である海拔 38.2m を記録する津波が発生し、甚大な被害を与えた

昭和三陸地震（しょうわさんりくじしん）は、1933 年（昭和 8 年）3 月 3 日午前 2 時 30 分 48 秒に、岩手県上閉伊郡釜石町（現・釜石市）の東方沖約 200 km（北緯 39 度 7.7 分、東経 145 度 7.0 分）を震源として発生した地震。気象庁の推定による地震の規模は M8.1。金森博雄の推測は Mw8.4 でアメリカ地質調査所（USGS）もこれを採用している

震源は下記にあるように日本海溝を隔てた太平洋側であり、三陸海岸まで 200km 以上距離があったため、三陸海岸は軒並み震度 5 の強い揺れを記録したが、明治三陸地震の時と同じく、地震規模に比べて地震による直接の被害は少なかった。しかし、地殻変動（後述参照）によって発生した大津波が襲来し、被害は甚大となった。最大遡上高は、岩手県気仙

郡綾里村（現・大船渡市三陸町の一部）で、海拔 28.7m を記録した。津波第一波は、地震から約 30 分で到達したと考えられる。

~~~~~

余談 02：予知防災、アクティブな防災

前述したように 東日本大震災の M9 という日本の歴史上最大規模の大地震の発生は ある意味巨大な物理現象で、それはある日突然に起きるのではなく、それなりの時間をかけて巨大なエネルギーが蓄積されてきて、その結果、ある時点で大地震として解放されると思われます。したがって大地震の発生の前、巨大なエネルギーが時間をかけて徐々に蓄積されていく間に、きっと何か、様々な前兆現象があったと思われます。

このことは たとえば製造業の機械の故障の予見可能性と似ています。多くの工場で、機械がたくさん動いており、危険な作業も多く、そうした工場できどき大きな事故が発生します。そのときに工場の安全委員会などが開かれて どうしたら事故が予見できたか？ どうしたら事故を防げたか？を、検証して対策をとります。

そこでよく言われるのが ヒヤリ、ハットの法則（ハインリッヒの法則）\*です。これは大きな 1 件の事故の前には 小さい危険行動が約 300 件あり、もう少し危ない行動が約 30 件あり、そして大きな 1 件の事故につながる、というものです。

ヒヤリ、ハットの法則（ハインリッヒの法則）は大きな事故の前に隠れている 300 件もの危険行為を無くして事故そのものを防ごうという活動につながります。

残念ながら大地震の発生自体は止められません。しかし我々は大地震の前に現れる様々な前兆現象を捉えて、そのデータから大地震の発生を予見予知し、

“もうじき大きな地震がくる可能性が高い”

と考えて、大地震が起きる前に十分な事前準備や対策をとることで、不意打ち的に起きる大地震の被害をできるだけ少なくすることが可能になる、と考えています。

\*参考：ヒヤリ、ハットの法則（ハインリッヒの法則）

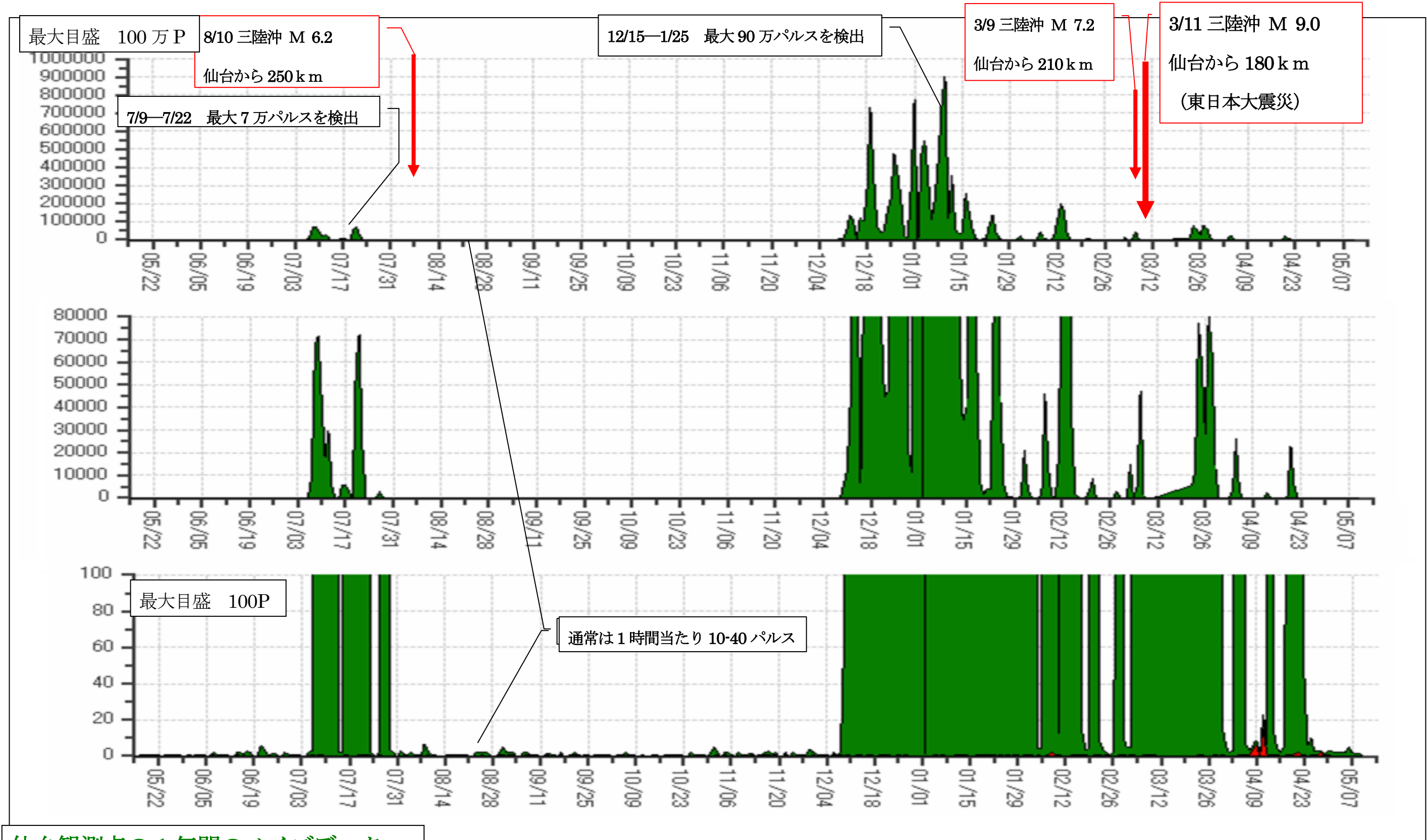
“傷害を伴った災害を調べると、傷害は伴わないが類似した災害が多数発見されることがよくある。潜在的有傷災害の頻度に関するデータから、同じ人間の起こした同じ種類の 330 件の災害のうち、300 件は無傷で、29 件は軽い傷害を伴い、1 件は報告を要する重い傷害を伴っていることが判明した。”

~~~~~

なお、2011 年の仙台観測点のデータと、仙台以外のデータの分析は添付 PDF を参照ください。

東日本大震災 マグニチュード9.0 の地震の予兆データ — くるかも 仙台観測点で これだけの予兆データが出ていました —

グラフは 仙台観測点の360日分のデータと、発生した地震の関係を示します



図に表れたノイズ総量を単純に比較すると「2010年8月10日三陸沖M6.3」の予兆に対して 大震災の予兆データは、40倍近くになっています。

「2010年8月10日 三陸沖 マグニチュード 6.3」の予兆データと、
東日本大震災「2011年3月11日 三陸沖 マグニチュード9.0」の予兆データとが表示されています。

—— 2010年7月の例 ——

2010年7月9日から21日にかけて最大7万パルスのノイズが検出されました。
その後 2010年8月10日に 三陸沖 M6.3 の地震が発生しました。

—— 東日本大震災の場合 ——

2010年暮れから2011年1月にかけて、更に大きいノイズデータが検出されました。最大値は24時間平均値で90万パルスを超えました。

かなり大きい地震を予測していたところ、

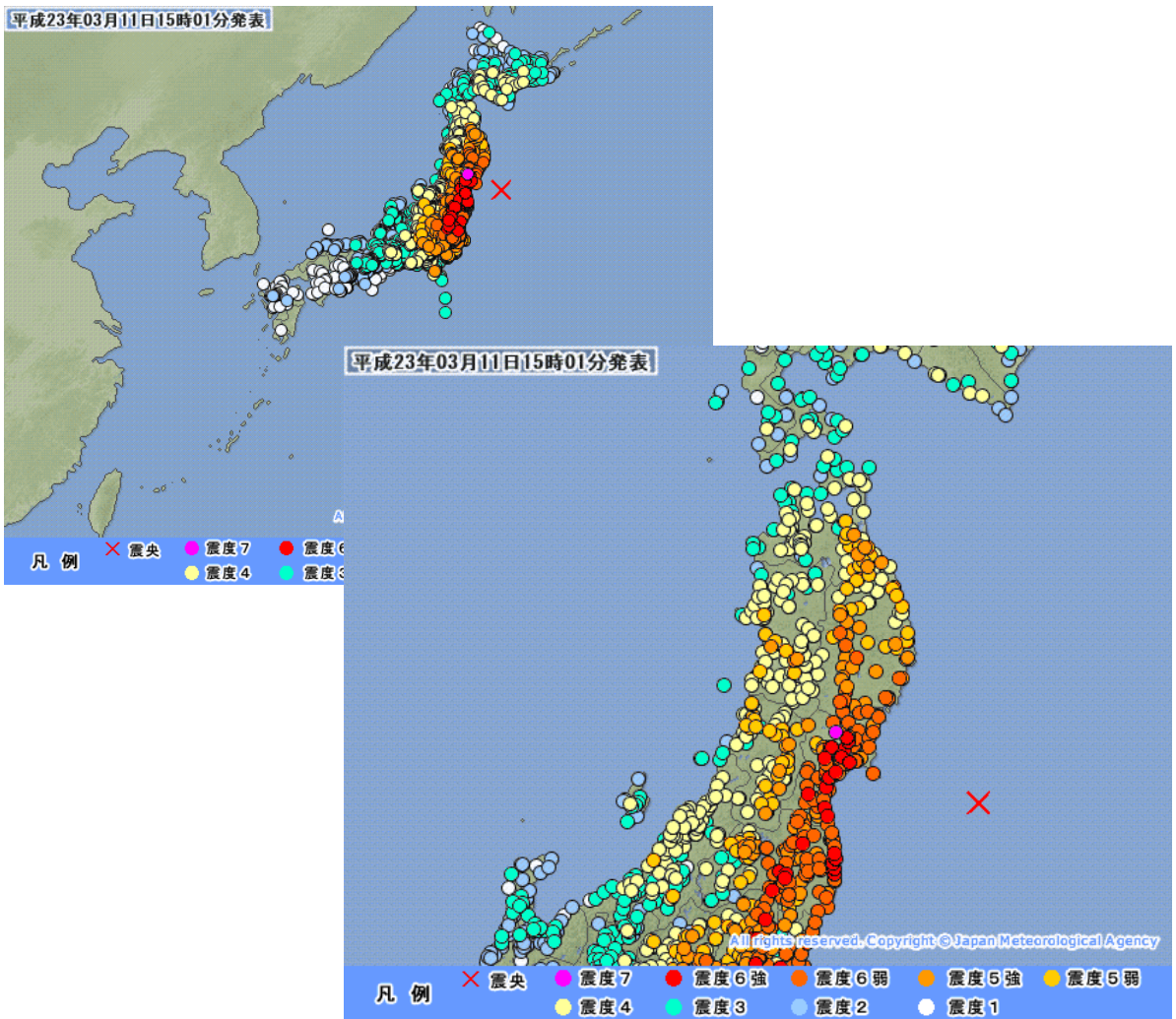
2月16日に 三陸沖 M5.5 と M5.3 とが同日に発生。1月10日のノイズのピークから、すでに36日経過しているのに、「本震」と言うほど大きくはありませんでしたが、「これがこの大きなノイズに対応する地震でしょう」と発表しました。その後、3月9日に、三陸沖 M7.2 が発生したので、「やはりこれが大きなノイズに対する対応地震でした」との発表の準備中に

「三陸沖 M8.8」が発生してしまいました。（後日M9.0に訂正）

図に表れたノイズ総量を単純に比較すると「2010年8月10日 三陸沖 M6.3」の予兆に対して
大震災の予兆データは、**40倍**近くになっていますので、明らかに「**巨大地震**」であることを示しています。

東北地方太平洋沖地震

「くるかも」電磁波ノイズ検証
2011.03.12

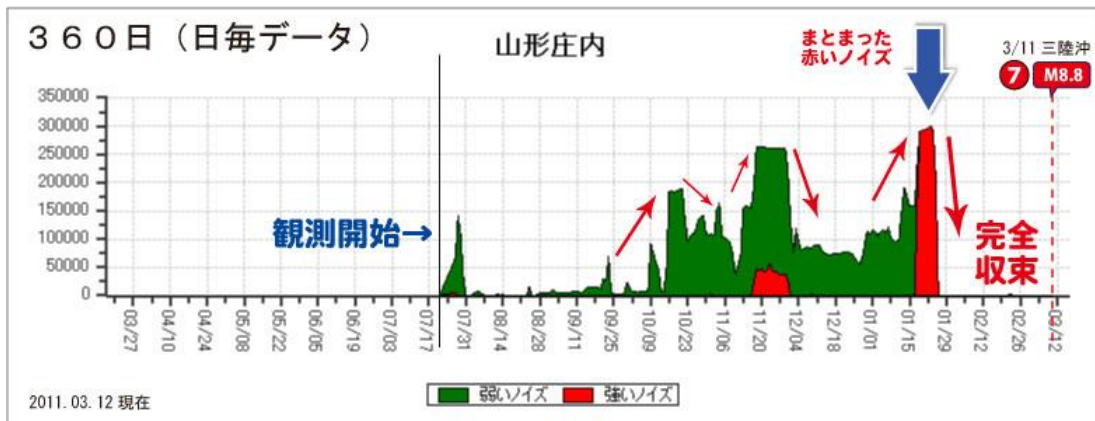


東北観測点の360日グラフデータ①

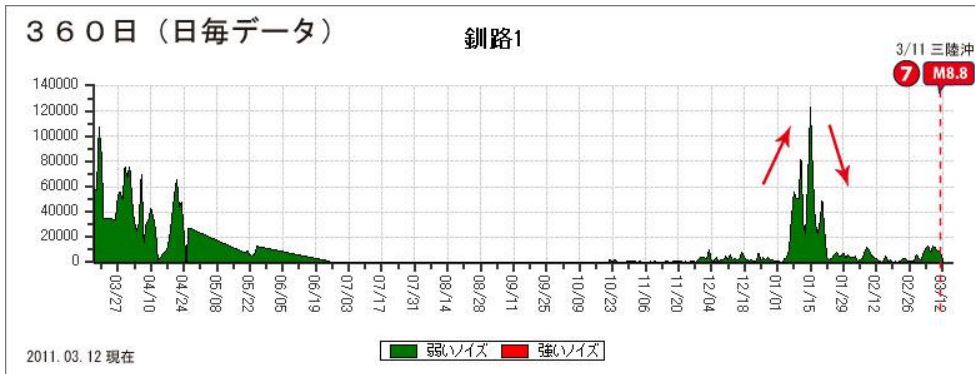
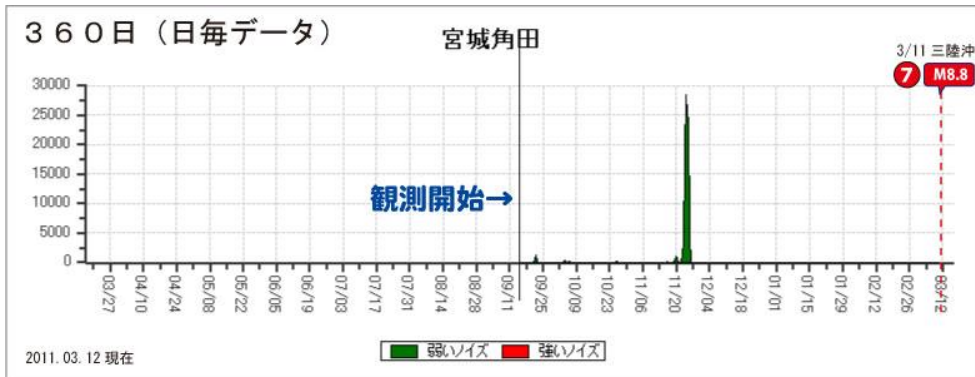
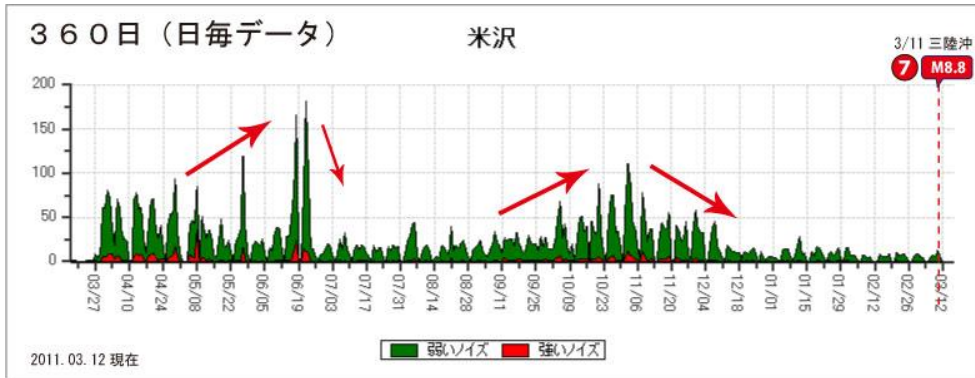


■東北観測点

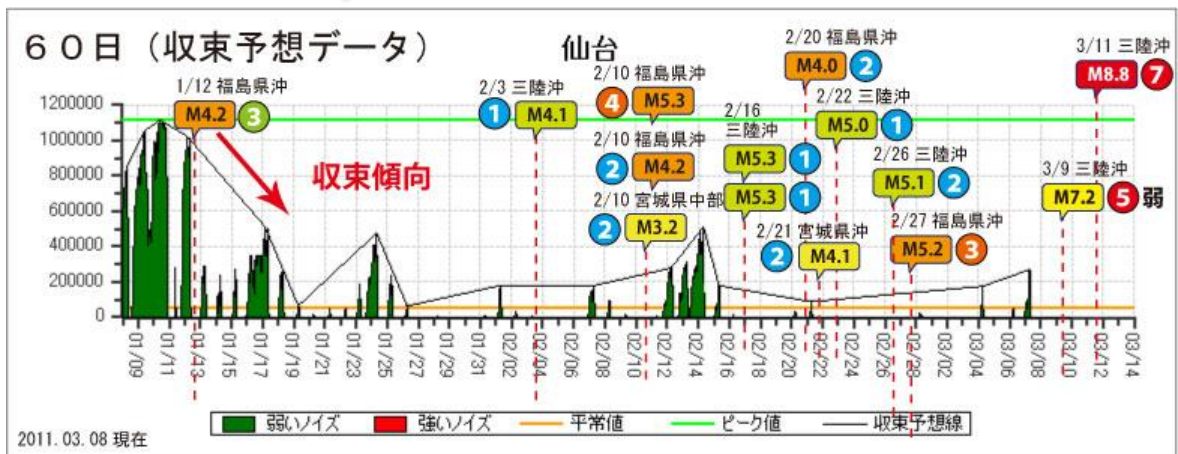
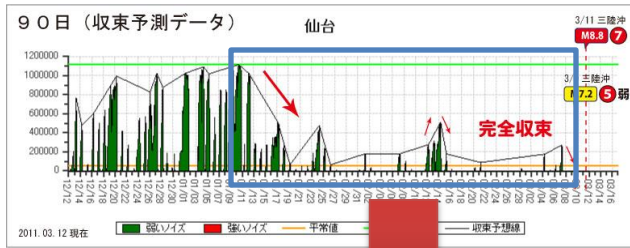
- ・仙台
- ・山形庄内
- ・米沢
- ・宮城小牛田
- ・宮城角田



東北観測点の360日グラフデータ②



仙台観測点詳細



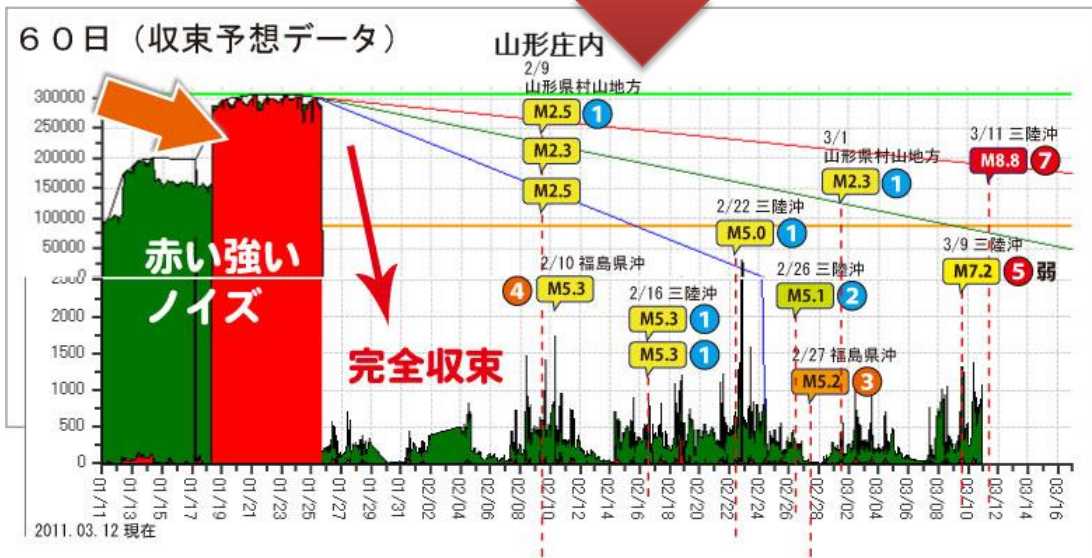
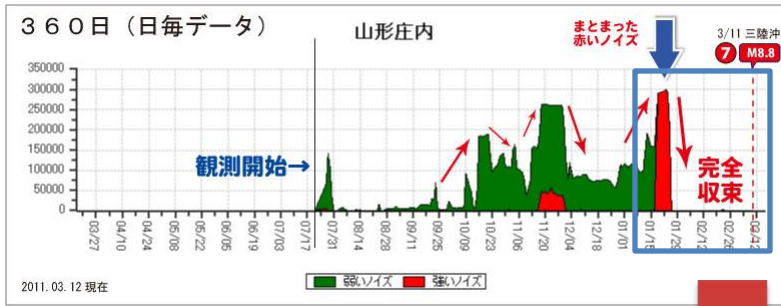
1/13頃より収束傾向に入り、2月にほぼ収束。
福島県沖M5.3をはじめ、M4～5クラスの地震が、
主に3地域「三陸沖」「福島県沖」「宮城県沖」で多発。

3/9、三陸沖M7.2（最大震度5弱）が発生。

3/11、三陸沖M8.8（最大震度7）が発生。

「東北地方太平洋沖地震」

山形庄内観測点詳細



昨年10月頃からノイズ量が急増。約3ヶ月異常ノイズが継続しました。1/18からは、赤い強いノイズの壁立ちが一週間出続け、1/26には完全収束。

福島県沖、三陸沖、山形村山地方などに小中地震が発生。

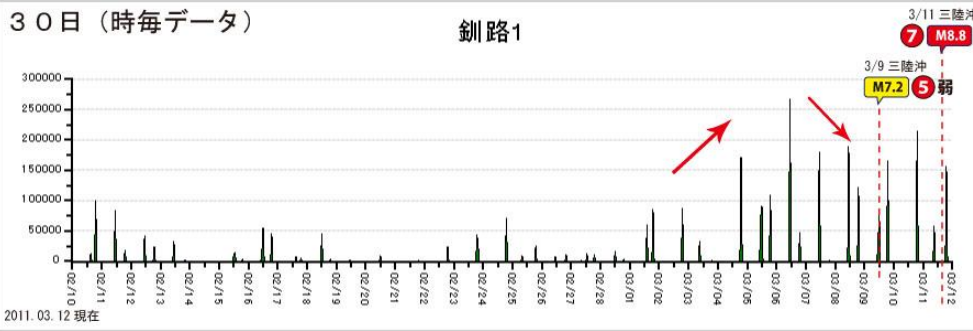
3/9、三陸沖M7.2（最大震度5弱）が発生。

3/11、三陸沖M8.8（最大震度7）が発生。

直前の異常ノイズ①

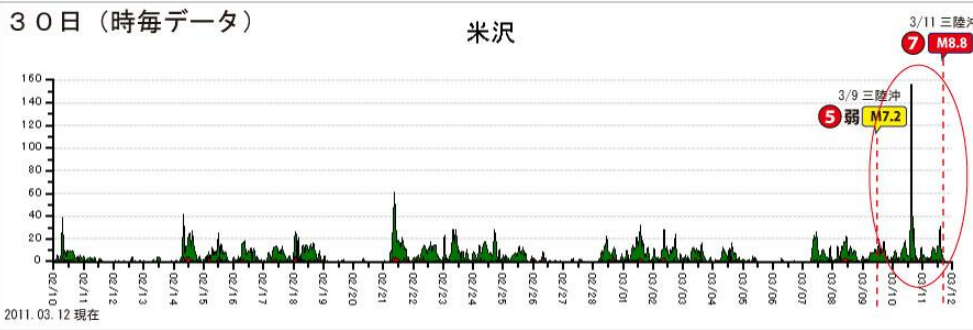
30日 (時毎データ)

釧路1



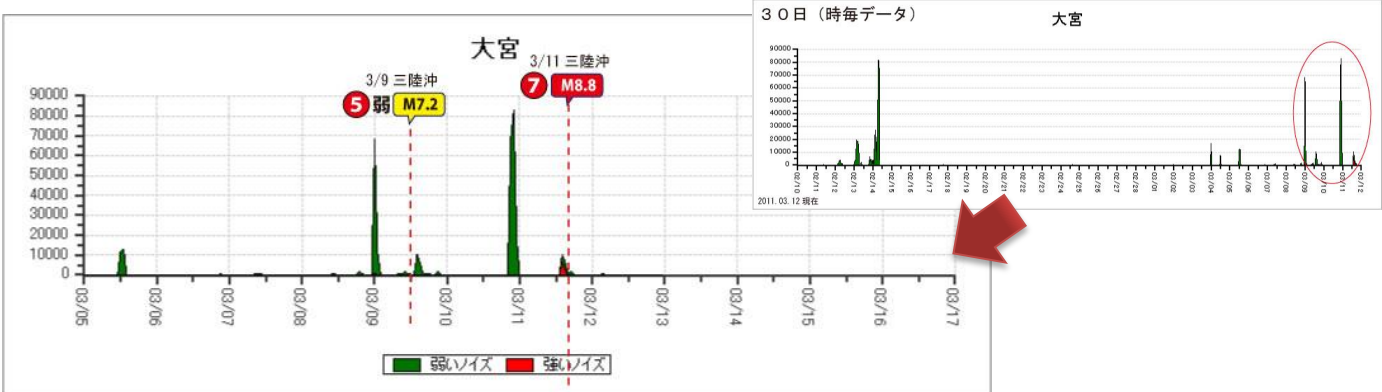
30日 (時毎データ)

米沢



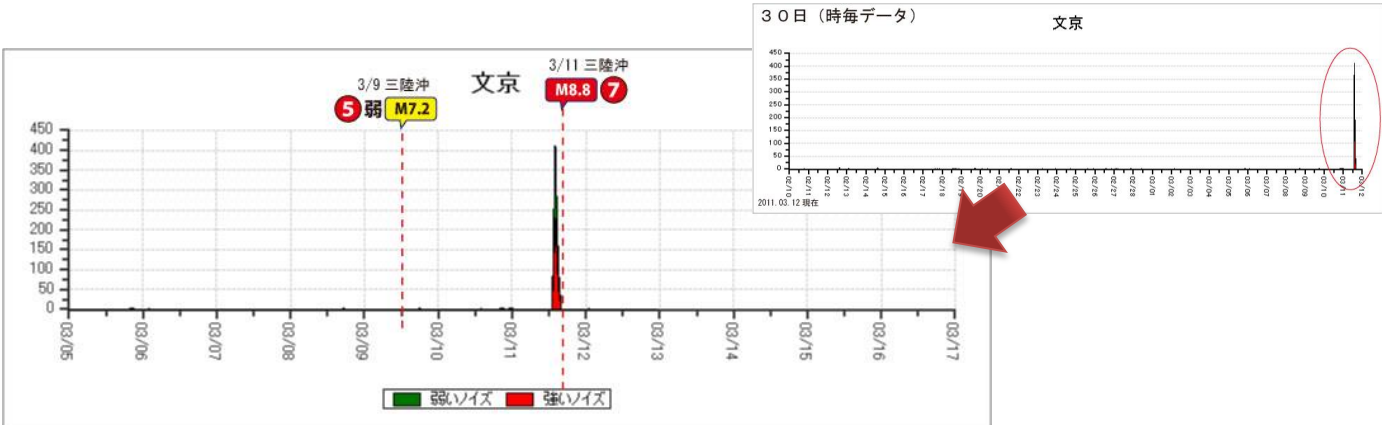
30日 (時毎データ)

大宮

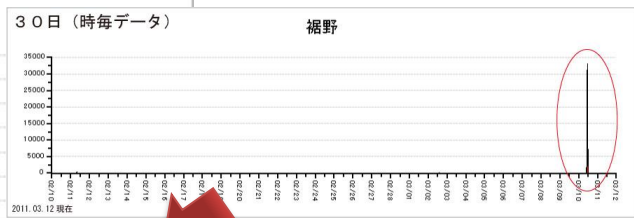
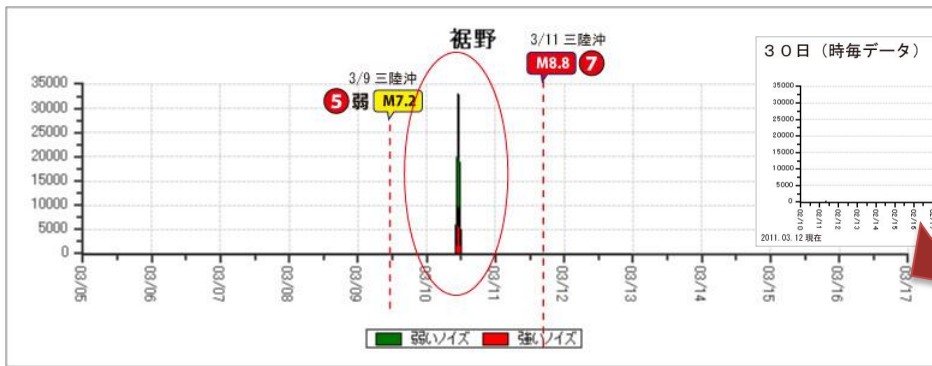
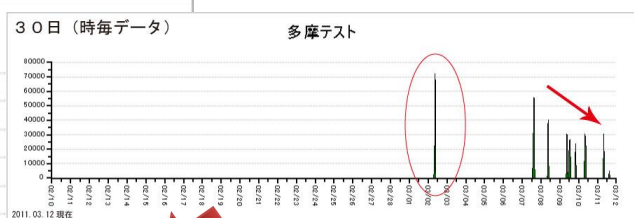
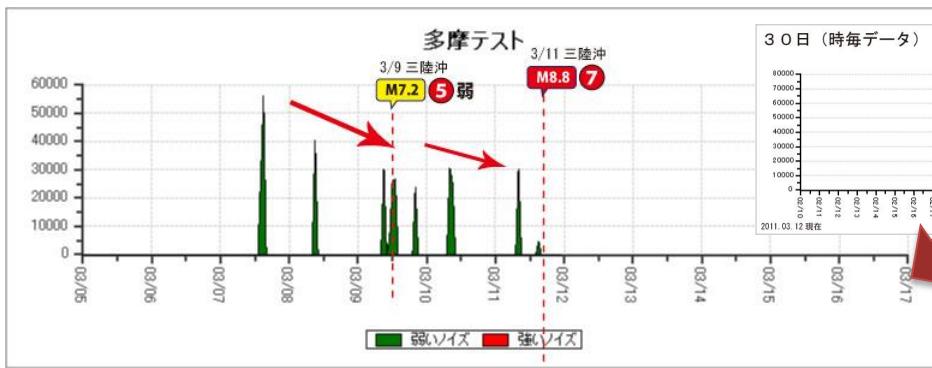
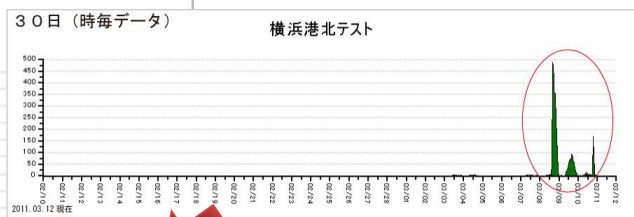
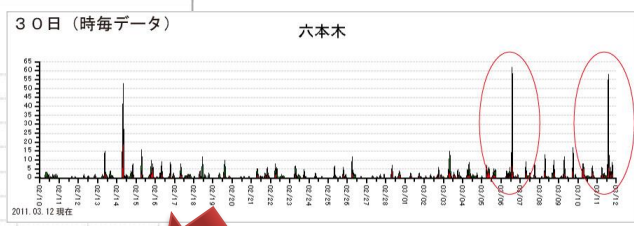
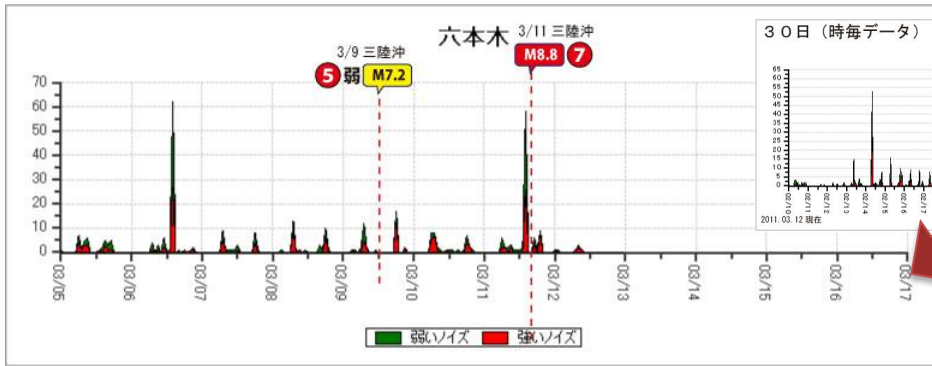


30日 (時毎データ)

文京



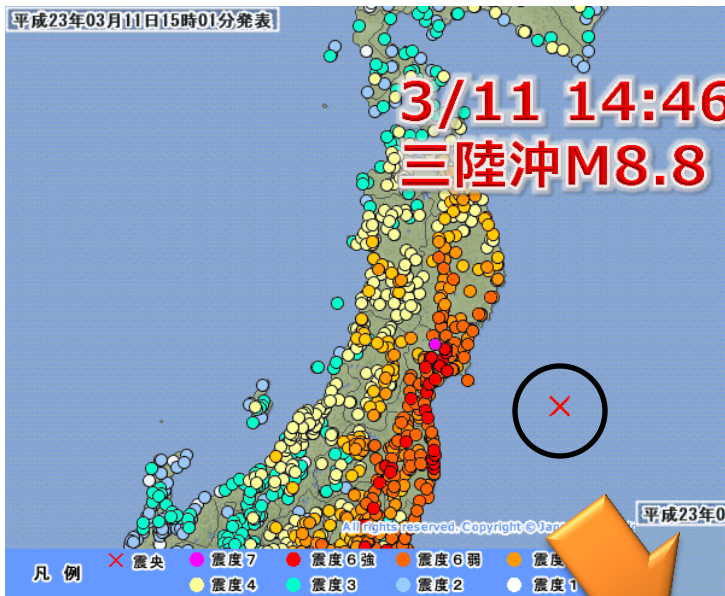
直前の異常ノイズ②



余震・連鎖地震

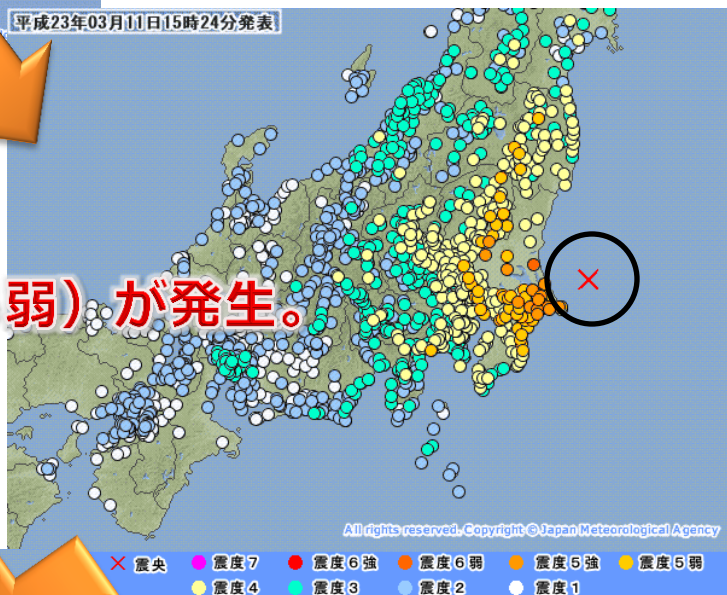
平成23年03月11日15時01分発表

**3/11 14:46頃、
三陸沖M8.8（最大震度7）が発生。**



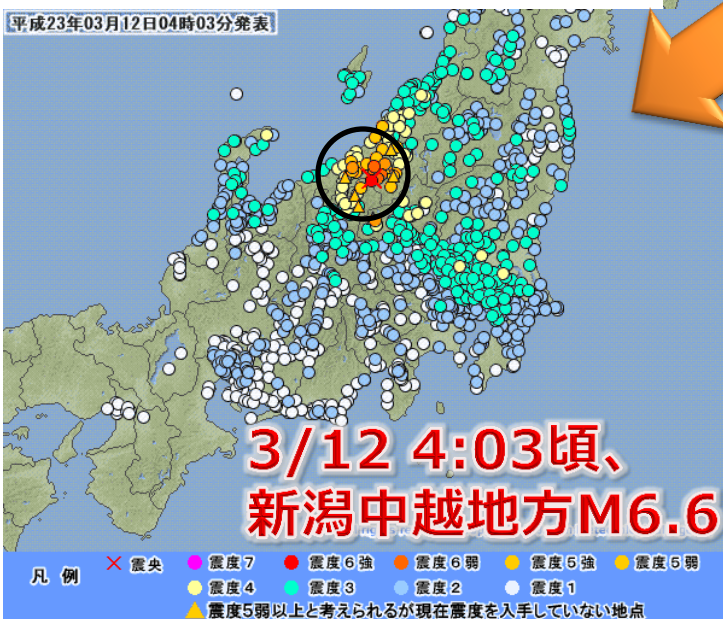
平成23年03月11日15時24分発表

**3/11 15:15頃、
茨城沖M7.4（最大震度6弱）が発生。**

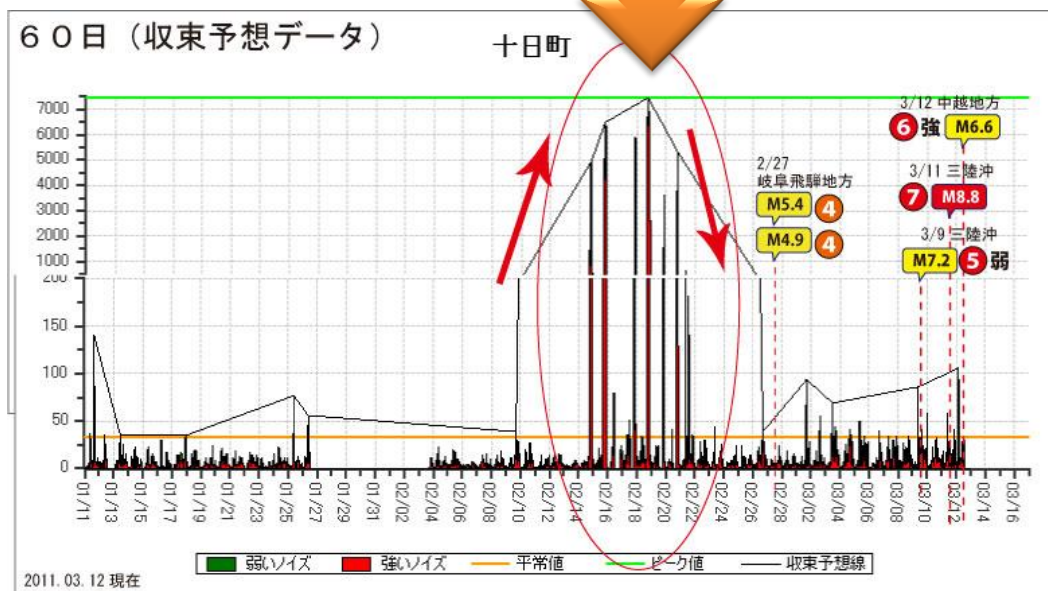
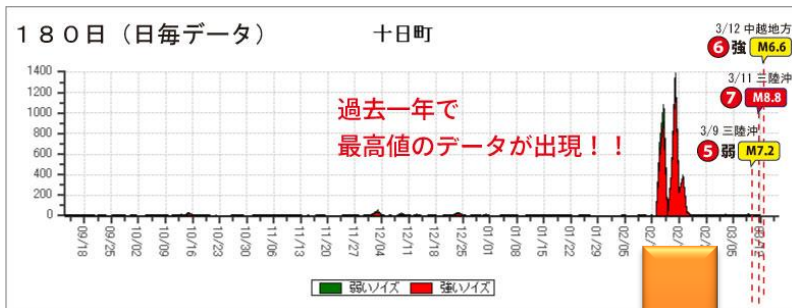


平成23年03月12日04時03分発表

**3/12 4:03頃、
新潟中越地方M6.6（最大震度6強）が発生。**



3/12 新潟中越地方M6.6(震度6強)



2/14より、突如大きなノイズが出始めました。過去1年で最高値です。約一週間継続した後、急激に収束。

八王子、山梨、浜松との同期から、中間地域の長野辺りでの発震を予測し、臨時メールを2/25に配信。
二日後の2/27に岐阜飛騨地方に震度4の群発地震が発生。

3/9、三陸沖M7.2(最大震度5弱)が発生。

3/11、三陸沖M8.8(最大震度7)が発生。

3/12、新潟中越M6.6(最大震度6強)が発生。

くるかも通信配信内容（2010.12.16配信）

No.10W-20101216号（12月16日）

●東北

仙台観測点に、非常に大きい電磁波ノイズが出ています！！
 仙台はこれまで、あまり大きいデータが見られなかったのですが、
 今回は12/9ごろから急な上昇を見せていて、13日には過去最高値の
 80万ノイズ（回）のデータです！
 ところが、周辺の観測点には同期するようなデータは見られず、
 ちょっと離れた千葉観測点に、同期するような一本立ちが見られています。
 昨日、茨城沖にM4.3（最大震度2）が発生しましたが、
 これは対応地震ではなさそうです。
 東北～北関東は、仙台の過去最高のデータが徐々に減っていき、
 収まった場合に地震が発生する可能性がありますので、要注意です。
 ただ、仙台観測点の過去の傾向から、大きなノイズが出てから
 約10日～20日後に地震が発生しており、今回も電磁波ノイズが収束し
 地震が発生するまでには、もう少し後になる可能性があります。
 今後、注意深く動向を見てまいります。

↓仙台観測点に突如、過去最大値のデータが出現しました！

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=101216_02.jpg

↓仙台観測点の一年間のグラフ分析

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=101216_02_2.jpg

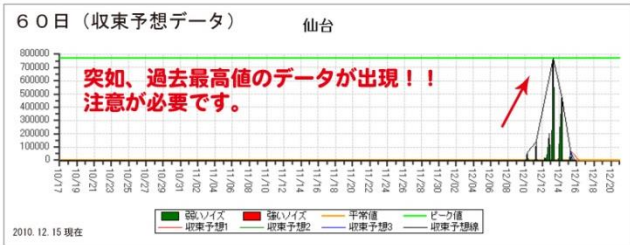


地震予知情報サービス「くるかも」
<http://www.kuru-kamo.com>

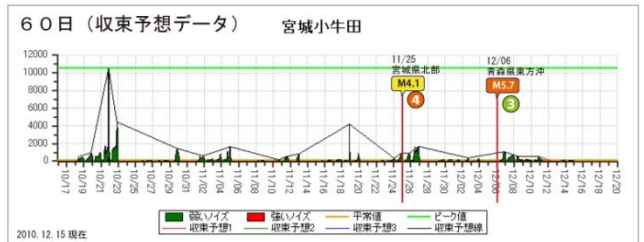
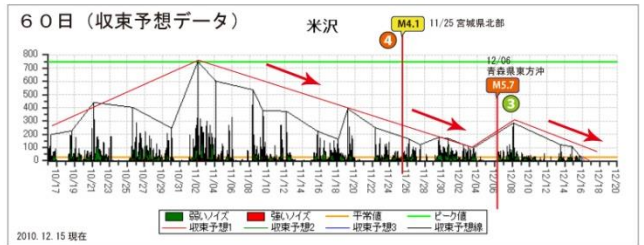
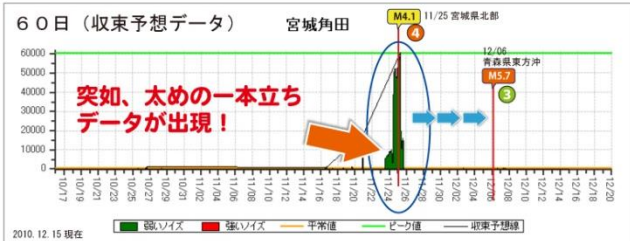
電磁波ノイズ地震予知システム

●東北地方

▼仙台に過去最高のデータが出現しています！



▼予測通り、12/6 青森県東方沖M5.7が発生しました！



くるかも通信配信内容（2010.12.25配信）

No.10W-20101225号（12月25日）

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出ています！！
 現在のところ周辺の観測点には同期するようなデータが見られず、
 発生場所などは分析しづらいですが、12/19宮城県北部M3.9、
 12/24宮城県沖M3.5などが発生しており、これらが、本震の前に
 発生する小規模な前兆地震である可能性も考えられます。
 このデータはリバウンドする可能性があります、このまま収束すると、
 地震発生の可能性が考えられます。
 今後、注意深く動向を見てまいります、どうぞご注意ください。

↓仙台に過去最高値のデータが出現中

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=101225_02.jpg

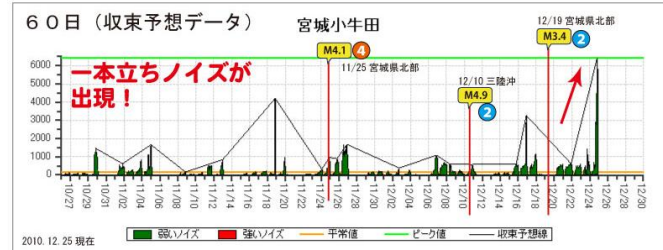
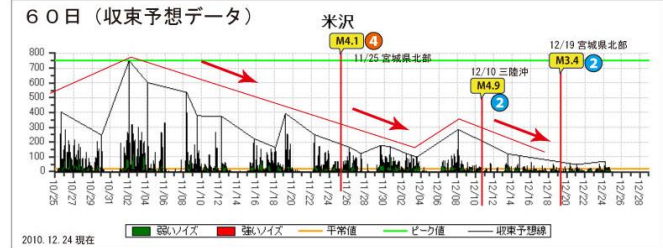
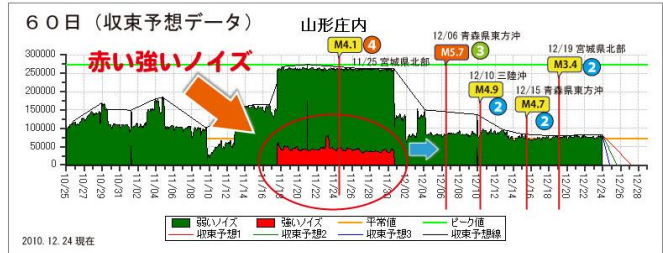
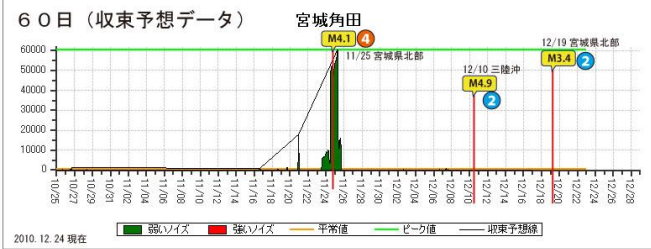
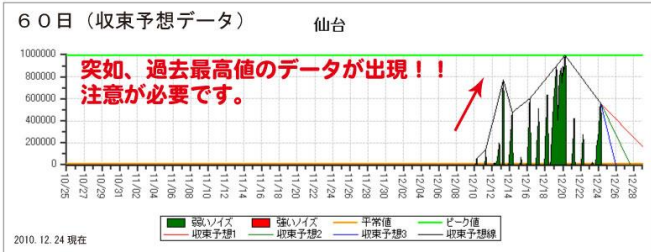


地震予知情報サービス「くるかも」
<http://www.kuru-kamo.com>

電磁波ノイズ地震予知システム

●東北地方

▼仙台に過去最高のデータが出現しています！



くるかも通信配信内容(2010.12.29配信)

No.10W-20101229号(12月29日)

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが継続中です！
 24日、宮城県沖M3.5が発生しましたが、仙台の大量のデータに対応するのではなく、前兆地震と思われます。
 仙台で今年7月に大量のデータ(二つの山型データ)を検出した時は、それぞれに対応する岩手県沖M5.2と三陸沖M6.2が発生しました。
 今回も二つの地域に関係する地震の可能性はあります。
 現在のところ、宮城小牛田に同期するデータが見られますが、宮城角田はエラーで欠測中です。
 その他、関東の大宮と八王子に同期とも見える一本立ちが見られますが、これが仙台のデータと関連しているのか、しばらく様子を見たいと思います。
 いずれにしても、仙台周辺はしばらく注意が必要です。

↓仙台に過去最高値のデータが出現中

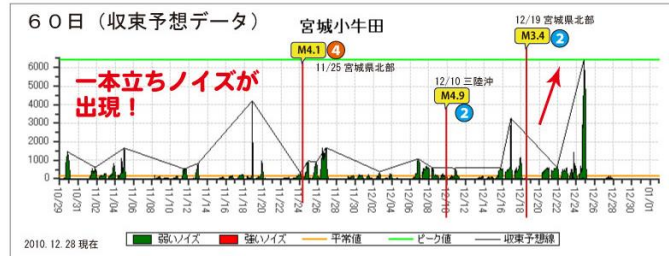
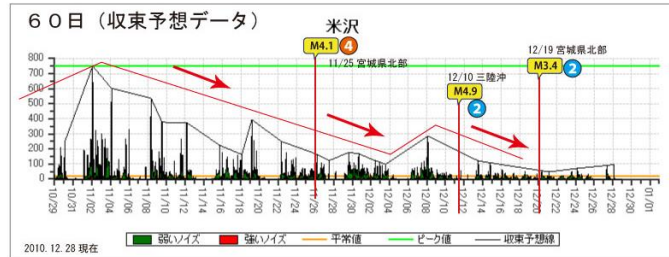
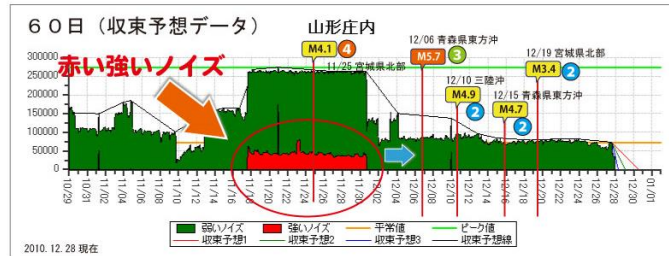
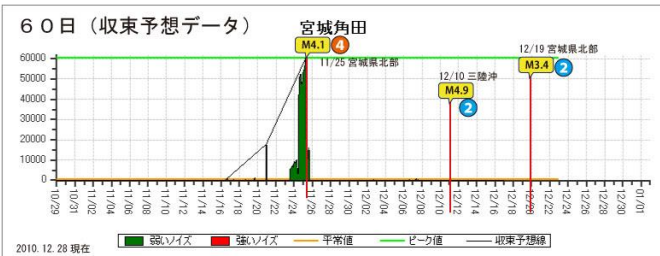
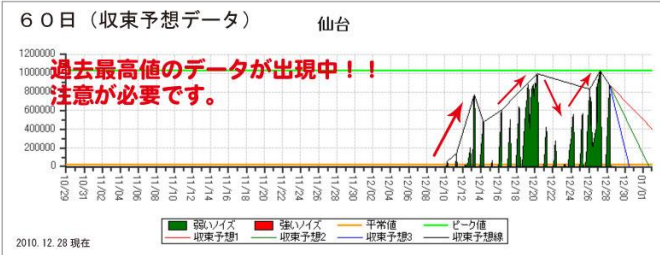
http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=101229_02.jpg



地震予知情報サービス「くるかも」
<http://www.kuru-kamo.com>

東北地方

▼仙台に過去最高のデータが出現しています！



くるかも通信配信内容(2011.01.08配信)

No.11W-20110108号(1月8日)

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが継続中です！

24日、宮城県沖M3.5が発生しましたが、仙台の大量のデータに対応するものではなく、前兆地震と思われます。

また、1/2には岩手沿岸と青森。1/3には秋田内陸にM3クラスの地震が続発しております。

仙台で今年7月に大量のデータ(二つの山型データ)を検出した時は、それぞれに対応する岩手県沖M5.2と三陸沖M6.2が発生しました。

今回も二つの地域に関係する地震の可能性がります。

現在のところ、宮城小牛田に同期するデータが見られますが、宮城角田はエラーで欠測中です。

関東の大宮と八王子に、同期する大きめのノイズが見られますが、これが仙台のデータと関連している可能性もあり、しばらく様子を見たいと思います。いずれにしても、仙台を中心に、東北地方はしばらく注意が必要です。

↓仙台に過去最高値のデータが出現中

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110108_02.jpg

くるかも通信配信内容(2011.01.13配信)

No.11W-20110113号(1月13日)

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが依然継続中です！

1/8～10にかけては、幅のある電磁波ノイズ(途切れなくノイズが出続けるデータ)が出現しており、警戒すべきデータです。

1/12には福島県沖にM4.2(震度3)が発生しましたが、仙台の大量のデータに対応するものではなく、本震が今後発生すると思われます。仙台で昨年7月に大量のデータ(二つの山型データ)を検出した時は、それぞれに対応する岩手県沖M5.2と三陸沖M6.2が発生しました。今回も二つの地域の地震の前兆を捉えている可能性も考えられ、関東の大宮と仙台の同期も気になるところです。いずれにしても、仙台を中心に、東北地方はしばらく注意が必要です。

◆公開中の地震予測(1/11現在)

発生日:2011/1/17+7日

場所:仙台周辺半径200km

規模:M5.7

↓仙台に過去最高値のデータが出現中

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110113_02.jpg

くるかも通信配信内容(2011.01.21配信)

No.11W-20110121号(1月21日)

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが依然継続中ですが、1/13から徐々にノイズ量が減り、収束間近です。

1/8～10にかけては、幅のある電磁波ノイズ(途切れなくノイズが出続けるデータ)が出現しており、警戒すべきデータです。

同期している可能性があるとしていた大宮観測点の大きなデータは、1/13小笠原諸島西方沖M6.3、を捉えていたものと思われます。

また、山形庄内に突如大きな赤い(強い)ノイズが出現しました!

庄内はここ最近、ノイズ量が減衰傾向にありましたが、1/18より急反発です。

観測を始めてから半年ほどなので、まだ傾向がハッキリしないのですが、仙台の異常データが収束間近ということもあり、

東北全域から中越(日本海側)の大きな地震を捉えている可能性が高い状態と言えますので、十分な警戒が必要です。どうぞご注意ください。

WEBサイトで公開中の地震予測(1/18発表)

発生日:2011/1/17+7日

場所:仙台周辺半径200km

規模:M5.7±0.4 ※前回の予知情報を継続します。

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110121_02.jpg

くるかも通信配信内容(2011.01.27配信)

No.11W-20110127号(1月27日)

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、徐々にノイズ量が減り、収束間近です。また、宮城小牛田にも活発な反応が見られます。

地震発生の可能性がとても高い状況です。どうぞご注意ください。

そして、山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い(強い)ノイズは、依然継続中です。

宮城(太平洋側)と山形(日本海側)で、別々の地震を捉えている可能性も考えられますが、内陸側の大きな地震を捉えている可能性もあります。

震源地はハッキリとしませんが、いずれにしても警戒が必要な状況です。どうぞご注意ください。

「WEBサイトで公開中の地震予測(1/25発表)

発生日:2011年01月24日+5日

場所:仙台周辺半径200km

規模:M5.7±0.4

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110127_02.jpg

くるかも通信配信内容(2011.02.02配信)

No.11W-20110202号(2月2日)

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、現在はほぼ収束です。

約2ヶ月前から急に出始めた異常ノイズは、大きくきれいな山型となっています。

また、宮城小牛田にも活発な反応が見られます。

仙台沖など周辺地域は、地震発生の可能性がとても高い状況です。どうぞご注意ください。

そして、山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い(強い)ノイズは依然継続しており、壁のように立っています。

宮城(太平洋側)と山形(日本海側)で、別々の地震を捉えている可能性も考えられますが、内陸側の大きな地震を捉えている可能性もあります。

震源地はハッキリとしませんが、いずれにしても警戒が必要な状況です。どうぞご注意ください。

「WEBサイトで公開中の地震予測(2/1発表)」

発生日:2011年02月01日+5日

場所:仙台周辺半径200km

規模:M5.7±0.4

発生日:2011年02月07日+7日

場所:庄内周辺80km範囲

規模:M5.2±0.4

◆発生した地震 1月26日 秋田県内陸南部 M2.7 震度1

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110202_02.jpg

くるかも通信配信内容(2011.02.10配信)

No.11W-20110210号(2月10日)

●東北

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、現在はほぼ収束です。約2ヶ月前から急に始まった異常ノイズは、大きくきれいな山型となっています。2/3に三陸沖M4.1、2/10には宮城県中部M3.2、福島県沖M4.2などが発生していますが、予想よりも小規模なので、今後大きめの地震が発生する可能性が考えられます。そして、山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い(強い)ノイズは、完全に収束しました。昨日は山形県村山地方にM2クラスの地震が3回発生しています。このような電磁波ノイズの出方は初めてなので予測が難しいですが、仙台の収束と合わせて、十分な注意が必要です。

「WEBサイトで公開中の地震予測(2/8発表)」

発生日:2011年02月08日+5日
場所:仙台周辺半径200km
規模:M5.7±0.4

発生日:2011年02月09日+5日
場所:庄内周辺80km範囲
規模:M5.2±0.4

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110210_02.gif

くるかも通信配信内容(2011.02.17配信)

No.11W-20110217号(2月17日)

●東北

前回の「くるかも通信」では、

仙台観測点に、過去最高値の大きな電磁波ノイズが出現中ですが、現在はほぼ収束です。約2ヶ月前から急に出始めた異常ノイズは、大きくきれいな山型となっています。2/3に三陸沖M4. 1、2/10には宮城県中部M3. 2、福島県沖M4. 2などが発生していますが、予想よりも小規模なので、今後大きめの地震が発生する可能性が考えられます。

としていましたが、その後、2/10に福島県沖M5. 3(最大震度4)が発生しました。しかし、予測よりもやや小さいことと、感度方向が過去の傾向と比べてズれているため、今後、もう少し大きめの本震が発生する可能性があります。そして昨日2/16には三陸沖M5. 3(最大震度1)が発生しています。どうぞご注意ください。

同じく大きなデータが出現中の山形庄内と八王子のデータが、この福島地震を捉えていたのか？は不明確で、現状ではそれぞれ別の予測を立ててみます。また、前回の「くるかも通信」では、

山形庄内に突如出現した、過去最大の赤い(強い)ノイズは、完全に収束しました。2/9には山形県村山地方にM2クラスの地震が3回発生しています。このような電磁波ノイズの出方は初めてなので予測が難しいですが、仙台の収束と合わせて、十分な注意が必要です。

としていましたが、完全収束と見られたデータが再度リバウンドを見せています。このようなデータは過去に例が無いので不確実ですが、山形庄内周辺でM5クラスの地震が発生する可能性がありますので、どうぞご注意ください。

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110217_02.gif

WEBサイトで公開中の地震予測(2/15発表)

発生日: 2011年02月15日 +5日
場所: 仙台周辺半径200km
規模: M5.7±0.4

発生日: 2011年02月16日 +5日
場所: 庄内周辺100km範囲
規模: M5.2±0.4

くるかも通信配信内容(2011.02.23配信)

No.11W-20110223号(2月23日)

●東北

前回2/17の「くるかも通信」では、

要注意としていた仙台の異常データは、2/10に福島県沖M5.3(最大震度4)が発生しました。しかし、予測よりもやや小さいこと、感度方向が過去の傾向と比べてズれているため、今後、もう少し大きめの本震が発生する可能性があります。

としていましたが、以下の地震が発生しました。

2/20 福島県沖M4.0(震度2) 2/21 宮城県沖M4.1(震度2) 2/22 三陸沖M5.0(震度1)
仙台周辺は、もう少し警戒が必要であると考えます。

また、前回の「くるかも通信」で、

完全収束と見られた山形庄内の異常データが、再度リバウンドを見せています。このようなデータは過去に例が無いので不確実ですが、山形庄内周辺でM5クラスの地震が発生する可能性がありますので、どうぞご注意ください。

としていましたが、こちらはまだ対応する地震が発生していません。しばらく注意が必要です。

そして、宮城小牛田観測点に2/19、大きめの一本立ちが出現しています！

これは、後述の新潟十日町の突発データとの関連があるかもしれません。

また、八王子も大きなデータが収束傾向であることから、宮城～福島～山形～新潟～八王子を結ぶ中間地域での中規模以上の地震が発生する可能性も考えられます。どうぞご注意ください。

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110223_02.gif

WEBサイトで公開中の地震予測(2/22発表)

発生日:2011年02月23日+5日

場所:庄内周辺100km範囲

規模:M5.2±0.4

くるかも通信配信内容(2011.03.02配信)

No.11W-20110302号(3月2日)

●東北

仙台観測点に出現していた過去最高値の異常データは、福島や三陸沖の中規模地震を捉えていた可能性があります。現在も、福島・三陸沖などにM4～5クラスの地震が発生していますので、もうしばらく注意が必要です。

そして、同じく大きな壁立ちのような異常ノイズデータが出ていた山形庄内は、完全に収束。

これは福島(震度4)の地震を捉えていたのか? 現時点では不明確です。

しかし、2/22にデータのリバウンドが見られ、山形村山地方に小規模の地震が発生していますので、これを前兆地震として、今後大きめの地震が発生する可能性も考えられます。

しばらくは周辺地域で注意が必要です。

また、前回の「くるかも通信」で、宮城小牛田観測点の2/19に大きめの一本立ちが出現しているので、「周辺地域で地震が発生する可能性が考えられます」としていましたが、三陸沖に発生しているM4～5の群発地震や、福島のM5クラスの地震を捉えていた可能性が高いです。

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110302_02.gif

WEBサイトで公開中の地震予測(3/1発表)

発生日:2011年03月02日 +5日

場所:庄内周辺100km範囲

規模:M5.2±0.4

くるかも通信配信内容(2011.03.09配信)

No.11W-20110309号(3月9日)

●東北

本日、午前11時45分頃、東北地方三陸沖にM7.2の地震が発生しました。宮城県栗原市では震度5弱を観測。東日本の広い範囲で大きく揺れました。さて、肝心の予測ですが、残念ながら直前のメールは配信できませんでした。しかし、お気付きの方もいらっしゃるかと思いますが、昨年12月から仙台に過去最大のノイズが出現。約1ヶ月の間、異常データが続きました。その後次第にノイズ量が減り、地震発生の可能性が高まったため、何度か警戒情報をメール配信しました。しかし発生したのは、いずれもM4~5クラスの中規模でした。同じく、山形庄内にも昨年10月頃から大きなノイズが出現し始めました。そして1月18日頃から、突如赤く強いノイズが出現。約一週間続きました。その後一気に収束。この時も警戒メールを配信しましたが、発生したのは小規模~中規模の地震でした。

▼仙台と山形庄内の半年グラフ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110309_00.gif

このように、何度となく東北地方の大規模地震を注意してまいりましたが、今日というタイミングで発生するところまで予測ができませんでした。「来るよ来るよ」と言って、来なかったり、来ても小さかったりしますと、やはり徐々に気が小さくなっていくものです。すみません。

しかし、今一度分析してみますと、仙台に以前大きなノイズが出た際に、最後のピークから20日後に、大きな地震が発生している例がいくつかありました。今回も最後のピークが2月15日でした。今日は22日後です。もう少し粘って予測するべきでした。予知精度を向上させるために、更なる傾向分析が必要であると同時に、東北地方に観測点をもっと増やしたいという思いが、強くなりました。観測点が増えれば増えるほど、精度が向上します。今後も、予知精度を上げるため、観測点の普及活動に努めてまいります。

前回配信した「くるかも通信」は、

=====

仙台観測点に出現していた過去最高値の異常データは、福島や三陸沖の中規模地震を捉えていた可能性があります。現在も、福島・三陸沖などにM4~5クラスの地震が発生していますので、もうしばらく注意が必要です。

そして、同じく大きな壁立ちのような異常ノイズデータが出ていた山形庄内は、完全に収束。

これは福島(震度4)の地震を捉えていたのか? 現時点では不明確です。

しかし、2/22にデータのリバウンドが見られ、山形村山地方に小規模の地震が発生していますので、これを前兆地震として、今後大きめの地震が発生する可能性も考えられます。

しばらくは周辺地域で注意が必要です。

=====

でした。とりえず警戒はしていましたが、大規模地震では、やはり直前の臨時メールは出したところです。今後も予知精度の向上に努めてまいります。

↓東北の電磁波ノイズグラフデータ

http://www.kuru-kamo.com/magazine/?src=110309_02.gif

WEBサイトで公開中の地震予測(3/8発表)

発生日:2011年03月08日+5日 場所:庄内周辺100km範囲 規模:M5.2±0.4

臨時くるかもメール(au)配信内容(2011.03.12配信)①

No.11Rau-20110312(3月12日)

東北地方太平洋沖地震について

■□■□■□■□■□

東北・関東・甲信越で大きな余震が続いています。

■□■□■□■□■□

2011年3月11日14時46分頃、東北三陸沖を震源とするマグニチュード8.8(最大震度7)という非常に大きな地震が発生し、その後も東北・関東・甲信越で大きな余震が続いています。

これにより、東北地方を中心にとっても広い範囲で甚大な被害が発生しております。

震災被害に遭われた方々には、心からお見舞いを申し上げます。

「くるかも」では、これ以上被害を拡大させないために、お役にたてるよう努力をしております。

ただ今、今後の予測情報を分析中でございますが、まずは現時点での予測状況をお伝えいたします。

◆最新予測情報

東北の「くるかも」観測点は5箇所。その内、「仙台」と「山形庄内」観測点に過去最高値の異常な電磁波ノイズが出現していました。

昨年12月から仙台に過去最大の電磁波ノイズが出現。約1ヶ月半の間、異常データが続きました。

その後、次第にノイズ量が減り、地震発生の可能性が高まったため、何度か警戒情報をメール配信していました。

同じく、山形庄内にも昨年10月頃から大きなノイズが出現し始めました。

そして1月18日頃から、突如強いノイズが出現！それが約一週間続きました。

その後一気に収束し、この時も警戒メールを配信しました。

(くるかもサイトの観測点グラフ閲覧で、仙台と庄内の180日を是非ご覧ください)

その後、ノイズは収束状態がしばらく続き、震度4の中規模地震がいくつか発生しましたが、「引き続き注意が必要」とお伝えしてまいりました。

そして3月9日に三陸沖M7.2(最大震度5弱)が発生。

これが「本震」として考えておりましたが、これは本震ではなく「前震」でした。

2011年3月11日14時46分頃、東北三陸沖を震源とするマグニチュード8.8(最大震度7)の巨大地震が発生。

「くるかも」は、過去に発生した地震と電磁波ノイズの出方を比較分析して予測情報を出していますが、過去に例のない、想像以上に大きな地震が発生しました。

また今朝、新潟中越地方にも、連鎖するかのようにならぬ地震が発生しました。

そして、「くるかも」新潟十日町観測点には、2月14日から過去最大の電磁波ノイズが出ていました。

同時に八王子にも非常に大きな電磁波ノイズが出現し、山梨にも異常ノイズが見られていましたが、少々離れた浜松観測点にも非常に大きなノイズが出ていたため、中間の長野に地震が発生するという「臨時メール」を2月25日に配信していました。

その2日後、岐阜飛騨地方に最大震度4の地震が群発しました。

これを「本震」としていましたが、岐阜の地震は浜松の異常ノイズ単独を捉えたものであり、十日町・八王子・山梨の非常に大きな電磁波ノイズは、今朝発生した中越地方M6.6(震度6強)を捉えていたものと思われます。

今後もしばらくは大きな余震が続くと思われます。二次災害の可能性も非常に高い状態です。規模が小さい地震でも安心することなく、充分にご注意ください。

また今回は、太平洋プレートと北米プレートの境で大きく亀裂が入り、東北・関東で相次いで大きな地震が発生しました。

新潟にも連鎖と思われる地震が発生していることから、他の地域で連鎖地震が発生する可能性があるのかどうか？

次ページへ続く

臨時くるかもメール(au)配信内容(2011.03.12配信)②

No.11Rau-20110312(3月12日)

前ページの続き

現時点での、電磁波ノイズグラフデータを分析いたしました。

◆北海道

釧路に出ているやや大きめの電磁波ノイズが徐々に収束し、昨日、三陸沖に巨大地震が発生。この地震を捉えていた可能性が高い状況ですが、念のため、釧路周辺での地震発生を注意いたします。

◆東北

地震発生の前日3/10に、米沢・宮城小牛田・宮城角田観測点に電磁波ノイズの異常が見られていました。今後もしばらくは、大きな余震発生に注意が必要です。

◆関東

地震発生の直前、大宮・六本木・千葉・横浜港北区・多摩に異常ノイズが出ていました。今後もしばらくは、大きな余震発生に注意が必要です。

◆中部・東海

地震発生の前日、静岡裾野に異常ノイズが一本出ていましたが、その他、新潟・山梨・福井など、特に異常ノイズは見られません。

ただ、浜松に地震発生直後からややノイズが出ているので、周辺での地震発生に注意が必要です。

◆近畿・四国

和歌山印南に出ている大きなノイズが完全に収束し、いくつか対応する地震が発生しました。

今後新たに大きな地震が発生するような異常ノイズは、今のところ見られません。

大阪池田観測点は2月25日に大きなノイズが出現しましたが、その後、大きなノイズは見られません。

◆中国地方・九州

広島は、長期にわたる大きな電磁波ノイズデータが徐々に収束し、現在は小さなリバウンドを繰り返しています。現在、四国との連動で瀬戸内海に中規模程度の地震発生の予測情報を配信していますので、少々注意が必要です。

北九州は、3月3日にやや異常ノイズが出現し、中規模地震発生の注意情報を配信中ですので、少々注意が必要です。

※東海～九州の西日本の「くるかも観測点」が少なく、予測状況は確実ではありませんが、今のところ、巨大地震が発生するような前兆ノイズは出ていません。

「震災被害を少しでも減らせるように」

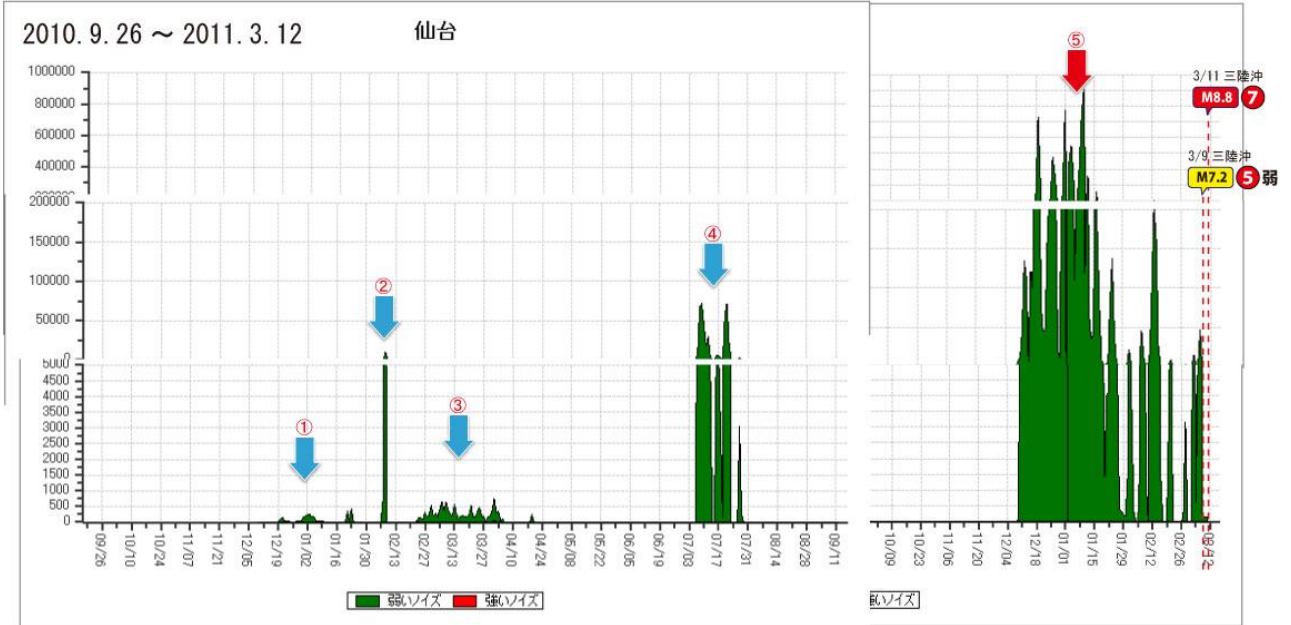
予知情報配信のみならず、何かお役にたてることのできるよう、皆さまの想いと共に、全力で被災者の方々を支援してまいります。

今後ともどうぞご協力お願い申し上げます。

またデータに動きがあれば「臨時くるかもメール」か「くるかも通信」でお伝えいたします。

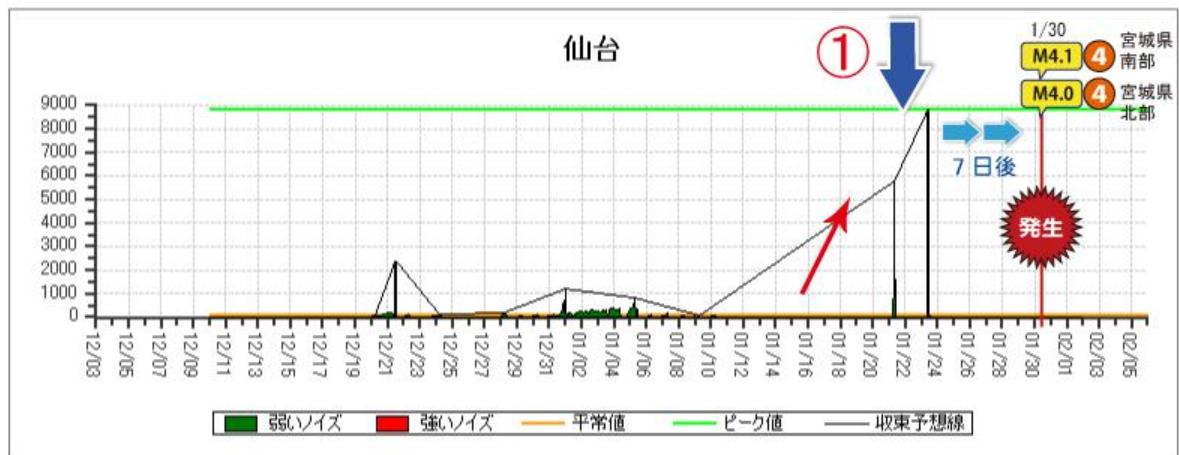
以上です。

仙台観測点の異常ノイズ: 1年間分析①



① 2010.1.21 大きな1本立ちが2本出現!

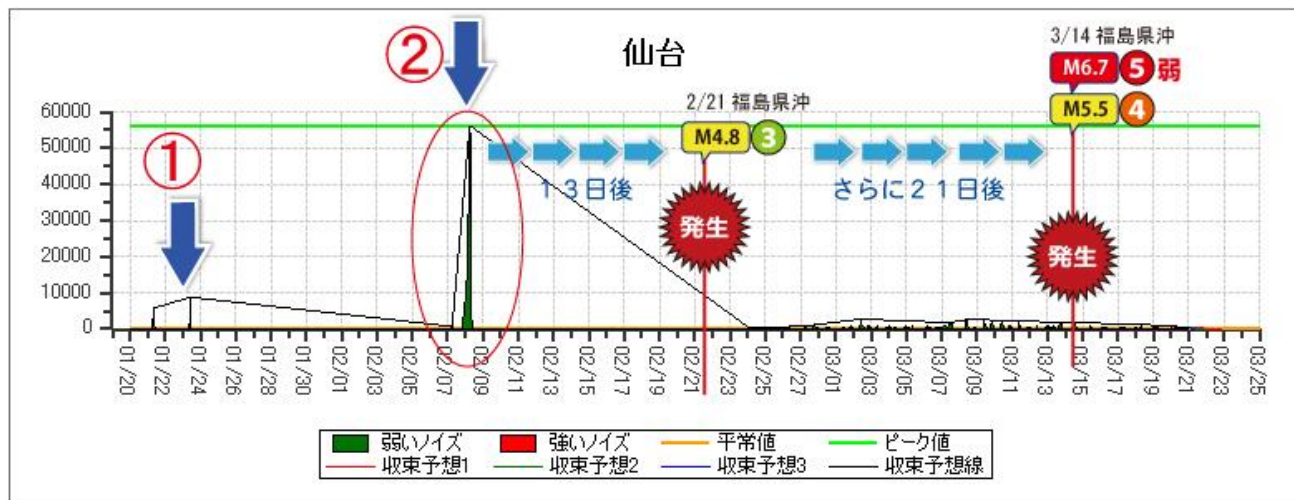
→その7日後、宮城県北部M4.0、宮城県南部 M4.1 (最大震度4) が発生。



仙台観測点の異常ノイズ:1年間分析②

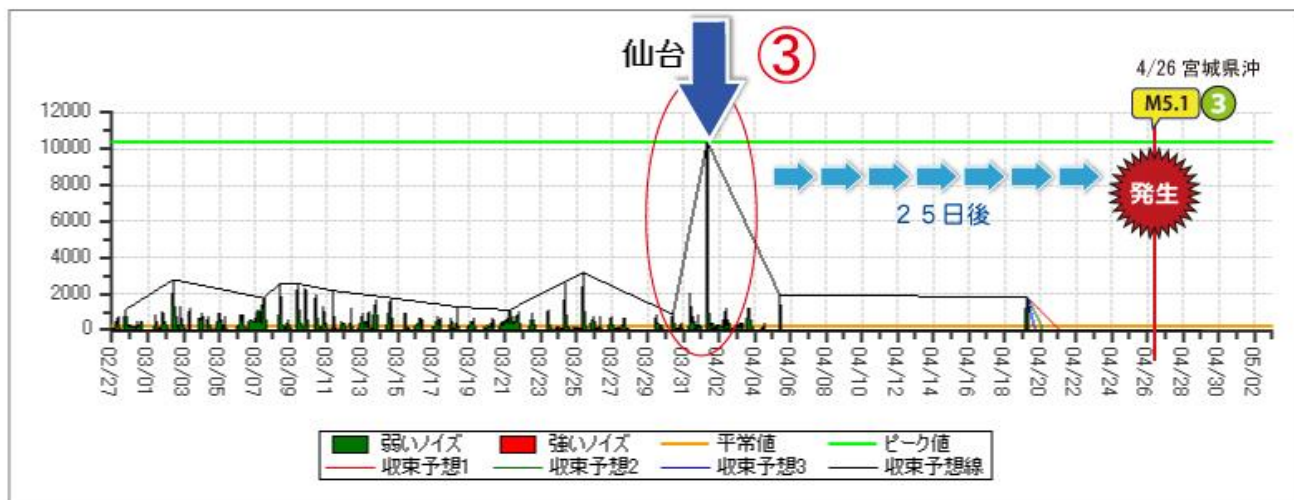
②2010.2.8 ①よりも大きな一本立ちが出現!

→その**13日後**福島県沖M4.8、さらに**21日後**福島県沖 M5.5 (最大震度4)、そして同日 M6.7 (最大震度5弱)が発生!



③2010.4.1 ①とほぼ同じ大きさの一本立ちが出現!

→その**25日後**宮城県沖M5.1 (最大震度3)が発生!

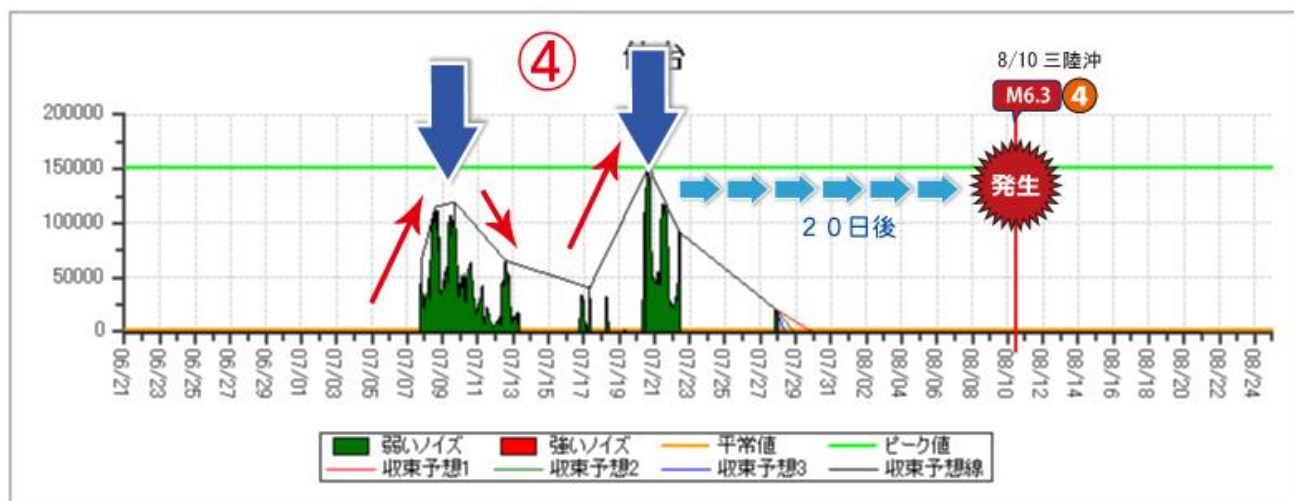


仙台観測点の異常ノイズ:1年間分析③

④2010.7.8 ~ 過去最高値の電磁波ノイズデータが出現！

→その **20日後**、三陸沖M6.3（最大震度4）が発生！

※この時は一度収束を見せてからリバウンドしました。このように、
リバウンドを繰り返すほど、規模の大きな地震が予想されます。



仙台観測点の異常ノイズ:1年間分析③

